2024 (令和 6) 年度

# 事業報告

学校法人 龍谷大学

# 目 次

Ι	法人の概要
I	法人の概要

	1	建学の精神・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	2	設置学校・所在地・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	3	役員・評議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	4	沿革(学校法人龍谷大学)・・・・・・・・・・・・・	7
		沿革(学校法人平安学園)【参考資料】	
	5	学部・研究科の目的・・・・・・・・・・・・・・・・	9
	6	教育研究組織<龍谷大学・龍谷大学短期大学部>・・・・・・	11
	7	法人組織機構図・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
	8	各学校の学生・生徒数(入学定員・入学者数・ 収容定員・現員数)及び収容定員充足率経年比較・・・・・・	14
	9	教育職員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
	10	事務職員数等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
Π	事業	報告の概要	
	1	中期計画について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
		(1)大学部門・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
		(2) 高等学校・中学校部門・・・・・・・・・・・・	21
	2	中期計画における2024(令和6)年度の特徴的な取組・・・・・	23
		(1)大学部門・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
		○新たな教学展開について(先端理工学研究科開設、 経営学部商学科・社会学部総合社会学科・心理学 研究科開設に向けた準備 等)	
		○大学政策の推進方策について(大学政策推進費)	
		〇研究力の強化を図るための取組について(URA、 学術的研究PJ、龍谷フラグシップ研究PJ 等)	
		〇深草キャンパス施設整備計画について	
		○瀬田キャンパスの活性化・施設設備の充実について	
		〇共創HUB京都コンソーシアムについて	
		(2) 高等学校・中学校部門・・・・・・・・・・・・	34
		○生徒が輝く学校づくりに向けて	
		○特色ある教育の取組について	
		○校長を中心とした学校改革について	
		○施設等の充実について	

# Ⅲ 財務の概要

2	2024 学杉	(令和 法法人	6) .龍名	年 <i>[</i> }大	度》 、学	央算の	算( 決	の は算	既ら	要 :つ	いい	て	•			•											35
	1	事業	目的	別	収	支	計	算	書																		36
	2	貸借	対照	表	•				•														•				37
	3	資金	収支	計	算:	書			•														•				42
	4	活動	区分	資	金.	収	支	計	算	書			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	45
	5	事業	活動	収	支	計	算	書	-				•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	47
	6	各計	算書	ŧの	経	年	推	移					•	•	•	•	•		•	•	•	•	•		•		50
	7	財産	目録	ξ.	•	•	•	•	•		•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•		53
	8	寄付	金の	)状	況	•		•	•				•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•		53
		補助																									54
	10	借入	金の	状	況	•	•	•	•		•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•		54
<	く参考	5>学	費等	<del>-</del>	·覧																						55

# Ι 法人の概要

#### 1 建学の精神

学校法人龍谷大学は、浄土真宗本願寺派を母体とし、教育基本法及び学校教育法に従い、 浄土真宗の精神に基づく教育を施すことを目的として設立された。本法人は、この目的を達成するために「龍谷大学」、「龍谷大学短期大学部」、「龍谷大学付属平安高等学校」及び「龍谷大学付属平安中学校」を設置しており、建学の精神を次のとおり顕すとともに、各学校の学則において、その設置目的を定めている。

## 龍谷大学

龍谷大学の「建学の精神」は「浄土真宗の精神」です。

浄土真宗の精神とは、生きとし生けるもの全てを、迷いから悟りへ転換させたいという 阿弥陀仏の誓願に他なりません。

迷いとは、自己中心的な見方によって、真実を知らずに自ら苦しみをつくり出している あり方です。悟りとは自己中心性を離れ、ありのままのすがたをありのままに見ることの できる真実の安らぎのあり方です。

阿弥陀仏の願いに照らされ、自らの自己中心性が顕わにされることにおいて、初めて自己の思想・観点・価値観等を絶対視する硬直した視点から解放され、広く柔らかな視野を獲得することができるのです。

本学は、阿弥陀仏の願いに生かされ、真実の道を歩まれた親鸞聖人の生き方に学び、「真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする」ことのできる人間を育成します。このことを実現する心として以下5項目にまとめています。これらはみな、建学の精神あってこその心であり、生き方です。

- ・すべてのいのちを大切にする「平等」の心
- ・真実を求め真実に生きる「自立」の心
- 常にわが身をかえりみる「内省」の心
- ・生かされていることへの「感謝」の心
- ・人類の対話と共存を願う「平和」の心

#### <龍谷大学の設置目的 ―龍谷大学学則第1条―>

本学は教育基本法及び学校教育法にしたがい、浄土真宗の精神に基づく大学として、 広く知識を授けるとともに、深く専門の諸学科を教授研究し、併せて有為の人材を養成 することを目的とする。

<龍谷大学短期大学部の設置目的 ―龍谷大学短期大学部学則第3条―>

本学は、教育基本法並びに学校教育法による短期大学として、浄土真宗の精神に基づき実際に即した専門の教育を施し、併せて有為の人材を養成することを目的とする。

## 龍谷大学付属平安高等学校・中学校

龍谷大学付属平安中学校・高等学校の「建学の精神」は「浄土真宗の精神」です。浄土真宗の精神とは、生きとし生けるもの全てを、迷いから悟りへと転換させたいという阿弥陀仏の誓願に他なりません。

迷いとは、自己中心的な見方によって、真実を知らずに自ら苦しみを作り出しているあり方です。悟りとは自己中心性を離れ、ありのままのすがたをありのままに見ることができる真実の安らぎのあり方です。

阿弥陀仏の願いに照らされ、自らの自己中心性が顕わにされることにおいて、初めて自 分中心の勝手な考え方にとらわれるのではなく、広く柔らかな考え方ができるようにな るのです。

本校は、阿弥陀仏の願いに生かされ、真実の道を歩まれた親鸞聖人の生き方に学び、「真実を求め、真実に生き、真実を顕らかにする」ことのできる人間を育てます。このことを実現するための日常の心得として以下の3つの「大切」を掲げています。これらはみな、建学の精神あってこその心であり、生き方です。

#### ことばを大切に

正確な言葉・やさしい言葉・ていねいな言葉

## じかんを大切に

今という時間・青春という時間・人生という時間

#### いのちを大切に

いただいているいのち・願われているいのち・支えられているいのち

- < 能谷大学付属平安高等学校の設置目的 一龍谷大学付属平安高等学校学則第1条一> 本校は、教育基本法、学校教育法並びに私立学校法により、高等普通教育及び専門教育を施し、特に仏教精神に基づく情操教育を行う。
- <能谷大学付属平安中学校の設置目的 一龍谷大学付属平安中学校学則第1条一> 本校は、教育基本法、学校教育法並びに私立学校法により、中等普通教育を施し、特に仏教精神に基づく情操教育を行う。

# 2 設置学校・所在地

#### ■設 置 学 校

- ◆龍谷大学
- ◆龍谷大学短期大学部
- ◆龍谷大学付属平安高等学校
- ◆龍谷大学付属平安中学校

#### 龍谷大学

#### 【所在地】

- ・深草キャンパス(所在地:京都市伏見区深草塚本町 67)
- ・大宮キャンパス (所在地:京都市下京区七条通大宮東入大工町 125-1)
- ・瀬田キャンパス (所在地:滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5)

#### 【その他の主な施設】

- ・Ryu koku University Berkeley Center (RUBeC:ルーベック) (所在地:アメリカ合衆国 カリフォルニア州 バークレー)
- ・Ryukoku University Hawaii Office (RUHO:ルーホ) (所在地:アメリカ合衆国 ハワイ州 ホノルル)
- ・龍谷ミュージアム(所在地:京都市下京区西中筋正面下る丸屋町 117)
- ・龍谷大学深草町家キャンパス (所在地:京都市伏見区深草直違橋 6-303)
- ・南大日グラウンド (所在地:京都市山科区勧修寺南大日)
- · 龍谷大学農学部牧実習棟(所在地: 滋賀県大津市牧2丁目)
- · 龍谷大学農学部牧農場(所在地:滋賀県大津市牧2丁目)
- · 龍谷大学農学部堂農場(所在地:滋賀県大津市堂1丁目)
- ・艇庫(所在地:滋賀県大津市螢谷 2-39)

# 龍谷大学付属平安高等学校・中学校

#### 【所在地】

・京都市下京区北小路通大宮西入御器屋町 30 番地

#### 【設置コース等】

## < 能谷大学付属平安高等学校 全日制課程普通科>

- ・特進コース(国公立・難関私立大学進学コース)
- ・プログレス・コース (龍谷大学進学コース)
- ・アスリート・コース (硬式野球部コース)

#### <龍谷大学付属平安中学校>

#### 【その他の主な施設】

- ・花背学舎 (所在地:京都市左京区花背別所町 633 番地)
- ・亀岡グラウンド (所在地:亀岡市千歳町毘沙門)
- ・龍谷大平安ボールパーク(所在地:京都市伏見区醍醐上端山町 1-1)

# 3 役員·評議員

学校法人龍谷大学 役員 (2025年3月31日現在)

役職	選任にかかる寄附行為の条項等	氏名	主な現職等	役員就任年月日	常勤・非常勤	非業務執行理事
	第8条第1項第1号	園城 義孝	浄土真宗本願寺派総長	2025年3月7日	非常勤	が次のがII12字
	第8条第1項第6号	入澤 崇	龍谷大学長	2023年4月1日	常勤	
-	第8条第1項第7号	森	龍谷大学事務局長	2024年12月20日	常勤	
		松木平淳太	龍谷大学副学長	2023年4月1日	常勤	
常務理事	第8条第1項第8号	大門 弘幸	龍谷大学副学長	2023年4月1日	常勤	
		安藤 徹	龍谷大学副学長	2023年4月1日	常勤	
		深尾 昌峰	龍谷大学副学長	2023年4月1日	常勤	
	第8条第1項第9号	石原 正樹	龍谷大学総務局長	2019年3月11日	常勤	
		桑羽 隆慈 ※	浄土真宗本願寺派総務	2025年3月10日	非常勤	0
	第8条第1項第2号 浄土真宗本願寺派総長の推薦する総務3名	竹田 空尊 ※	浄土真宗本願寺派総務	2025年3月10日	非常勤	0
	73 = 200 1 100 0 10	松原 功人 ※	浄土真宗本願寺派総務	2025年3月10日	非常勤	0
		藤實 無極 ※	本山本願寺執行長	2025年3月7日	非常勤	0
		荻野 昭裕 ※	浄土真宗本願寺派宗会議員	2025年3月7日	非常勤	0
		浅野 弘毅 ※	浄土真宗本願寺派宗会議員	2025年3月7日	非常勤	0
		渡邊 幸司 ※	浄土真宗本願寺派宗会議員	2025年3月7日	非常勤	0
		霍野 廣紹 ※	浄土真宗本願寺派宗会議員	2025年3月7日	非常勤	0
	第8条第1項第3号	髙屋 顕裕 ※	浄土真宗本願寺派宗会議員	2025年3月7日	非常勤	0
	浄土真宗本願寺派総長の推薦する学識経験 *1.24以上1.54以中		浄土真宗本願寺派宗会議員	2025年3月7日	非常勤	0
	者12名以上15名以内		龍谷大学校友会会長 元龍谷大学長	2025年3月7日	非常勤	0
			参議院議員	2025年3月7日	非常勤	0
			株式会社京都新聞社 北部総局長	2025年3月7日	非常勤	0
			浄土真宗本願寺派宗会議員	2025年3月7日	非常勤	0
TIM str			浄土真宗本願寺派宗会議員	2025年3月7日	非常勤	0
理事	第8条第1項第4号					_
	浄土真宗本願寺派宗会議長	下川 弘暎 ※	浄土真宗本願寺派宗会議長	2025年3月7日	非常勤	0
	第8条第1項第5号 評議員のうちから理事会の推薦する者	足利 善彰 ※	浄土真宗本願寺派宗会議員	2024年7月24日	非常勤	0
		玉木 興慈	龍谷大学文学部長	2023年4月1日	常勤	
		兵庫 一也	龍谷大学経済学部長	2024年4月1日	常勤	
		長谷川岳史	龍谷大学経営学部長	2023年4月1日	常勤	
		越山 和広	龍谷大学法学部長	2024年4月1日	常勤	
		岸本 直之	龍谷大学先端理工学部長	2023年4月1日	常勤	
	第8条第1項第10号	井上 辰樹	龍谷大学社会学部長	2023年4月1日	常勤	
		清水 耕介	龍谷大学国際学部長	2024年4月1日	常勤	
		村田 和代	龍谷大学政策学部長	2023年4月1日	常勤	
		竹歳 一紀	龍谷大学農学部長	2023年4月1日	常勤	
		吉川悟	龍谷大学心理学部長	2023年4月1日	常勤	
ļ	第8条第1項第11号	黒川雅代子	龍谷大学短期大学部長	2023年4月1日	常勤	
-	第8条第1項第12号	東澤 雄二 山脇 護	龍谷大学学長室長 龍谷大学付属平安高等学校・中学校長	2016年3月14日 2024年4月1日	常勤常勤	
			能谷人子り属于女向寺子校・中子校女 元学校法人龍谷大学常務理事	2022年5月27日	非常勤	
	第9条第1項 評議員会の同意を得て、理事長が選任する		京都信用金庫 顧問	2022年5月27日	非常勤	
監事						

<sup>・※</sup>印の役員については、私立学校法第44条の2第1項に基づく損害賠償責任について、学校法人能谷大学寄附行為第16条の5の規定に基づき、 本法人と責任限定契約を締結している。

<sup>・</sup>本法人は全ての役員を被保険者とする役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しており、被保険者が私立学校法第44条の2第1項及び 第44条の3第1項の損害賠償責任に起因して損害賠償請求がなされたことにより生じる損害を補償している。

学校法人龍谷大学 評議員 (2025年3月31日現在)

役職	選任にかかる寄附行為の条項等	氏名	主な現職等	評議員就任年月日	常勤・非常勤
	120	鍋島 直樹	龍谷大学文学部教授	2023年05月07日	常勤
		佐々木 淳	龍谷大学経済学部准教授	2022年04月01日	常勤
		鈴木 学	龍谷大学経営学部教授	2023年05月07日	常勤
		丹羽 徹	龍谷大学法学部教授	2024年04月01日	常勤
	第17条第2項第1号	三好 力	龍谷大学先端理工学部教授	2022年04月01日	常勤
	能谷大学及び龍谷大学短期大学部の教育職員のうちか	山田 容	龍谷大学社会学部教授	2022年04月01日	常勤
	ら11名	泉 文明	龍谷大学国際学部教授	2024年04月01日	常勤
		松浦さと子	龍谷大学政策学部教授	2023年04月01日	常勤
		石原 健吾	龍谷大学農学部教授	2024年04月01日	常勤
		東 豊	龍谷大学心理学部教授	2023年04月01日	常勤
		阪口 春彦	龍谷大学短期大学部教授	2024年04月01日	常勤
		花崎 正順	龍谷大学総務部長	2023年04月19日	常勤
	第17条第2項第2号	河村由紀彦	龍谷大学瀬田事務部長	2024年05月12日	常勤
	龍谷大学及び龍谷大学短期大学部の事務職員のうちか	田中 雅子	龍谷大学学長室(広報)次長	2023年04月01日	常勤
	ら5名	青木 千義	龍谷大学財務部長	2024年04月01日	常勤
		松山 幸司	龍谷大学教学部次長	2023年04月01日	常勤
	第17条第 2 項第 3 号 付属平安高校及び付属平安中学校の教育職員及び事務 職員のうちから1名	燧土 勝徳	龍谷大学付属平安高等学校・中学校副校長	2024年04月01日	常勤
		松浦 俊昭	龍谷大学校友会京都支部副代表幹事	2022年02月20日	非常勤
	第17条第2項第4号	菅谷 幸弘	龍谷大学校友会副会長	2023年05月17日	非常勤
	龍谷大学又は龍谷大学短期大学部を卒業した者で、年 齢25年以上の者のうちから4名	町田 徳男	龍谷大学校友会総務部会長	2023年05月17日	非常勤
		荒川林太郎	龍谷大学校友会副会長	2023年11月02日	非常勤
評議員	第17条第 2 項第 5 号 付属平安高校又は付属平安中学校を卒業した者で、年 爺25年以上の者のうちから1名	寺村 篤	平安同窓会長	2024年04月01日	非常勤
	第17条第 2 項第 6 号 龍谷大学及び龍谷大学短期大学部に在籍する学生の保 護者のうちから1名	寺西 覚水	龍谷大学親和会長	2024年05月18日	非常勤
		西村 敏夫	净土真宗本願寺派宗会議員	2023年04月01日	非常勤
		塩月 光夫	浄土真宗本願寺派宗会議員	2023年04月01日	非常勤
		清岡 大地	浄土真宗本願寺派宗会議員	2024年12月11日	非常勤
	第17条第2項第7号	田仲 隆行	浄土真宗本願寺派宗会議員	2024年12月14日	非常勤
	浄土真宗本願寺派宗会議員のうちから7名	那須 英信	浄土真宗本願寺派宗会議員	2024年12月20日	非常勤
		笠置 信行	浄土真宗本願寺派宗会議員	2024年12月11日	非常勤
		髙務 哲量	净土真宗本願寺派宗会議員	2024年12月11日	非常勤
	第17条第2項第8号	宗本 昌延	浄土真宗本願寺派統合企画室長	2024年12月23日	非常勤
	浄土真宗本願寺派部長たる宗務員のうちから2名	齋藤 英明	浄土真宗本願寺派社会部長	2024年12月16日	非常勤
	第17条第2項第9号	理事就任者			
		竹中 了哲	净土真宗本願寺派宗会議員	2023年07月27日	非常勤
		足利善彰	净土真宗本願寺派宗会議員	2024年07月24日	非常勤
		小川 信正	龍谷大学校友会副会長	2022年05月28日	非常勤
		菅原 俊軌	浄土真宗本願寺派宗会議員	2023年08月01日	非常勤
	第17条第2項第10号	藤田裕之	京都市レジリエント・シティ統括監	2022年05月28日	非常勤
	この法人に関係のある学識経験者11名	光岡理學	浄土真宗本願寺派宗会議員	2025年03月23日	非常勤
		鹿多 証道	净土真宗本願寺派宗会議員	2023年05月23日	非常勤
		岸本織江	滋賀県副知事	2024年07月26日	非常勤
		大河内隆之	浄土真宗本願寺派宗会議員	2024年04月01日	非常勤
		加藤 尚史	净土真宗本願寺派宗会議員	2024年04月01日	非常勤
		野瀬 善隆	净土真宗本願寺派宗会議員	2024年04月01日	非常勤

# 4 沿革(学校法人龍谷大学)

1853年 (東京) - 2022年 (東京) - 2023年 (東京) - 202				
		本願寺派学寮として創設される。		
1993年   大学校園 1		学寮の制条(学則)を定める。	(1),4-7	英語英米文学科に改組する。
### 次中級 中央				短期大学部専攻科福祉専攻を設置する。
1994年		東中筋学林町に学林講堂・衆寮を再建する。		機械システム工学専攻、物質化学専攻(修士課程)を設置
1872年   おしかて書子を開議する。   1873年   株門改正により学校別皮を採用し、普通字を開係する。   1873年   株門改正により学校別皮を採用し、普通字を開係する。   1873年   株別などなる。   1873年   大変校 (投大宮舎会本館・前本河南) 落成する。   1893年   接過数位 (投大宮舎会本館・前本河南) 高級市 (大学院上の) 上の (大学		学林敷地の上地により、本願寺廓内へ移転する。	(平成6)	大学院文学研究科教育学専攻(修士課程)を設置する。
1876年   株田の正により大砂皮をなった   株田の学師にも   大学校	1872年	はじめて洋学を開講する。		機械システム工学専攻、物質化学専攻(博士課程)を設置
1878年 本派の学制により大教校となる。 「	1875年	林門改正により学校制度を採用し、普通学を開講する。		国際文化学部国際文化学科を設置する。
大教校 (現大宮守舎本館・南北両磐) 高成する。   1905年	1876年	本派の学制により大教校となる。		英文学専攻を英語英米文学専攻に名称変更する。
1888年		大教校(現大宮学舎本館・南北両黌)落成する。	(平成9)	設する。
#### 2002年		普通教校(現大宮学舎東黌)開講する。		上处吃同晚才小处开吃到同晚才小处审妆 (收上组立) 大乳
等制を更改し、仏教大学となる。 専門学校のにより、仏教大学として説可される。 「特別306年 大学により、山刺大学として大学設立の認可をうけ、報 が大学となる。 「知知大学部仏教科を設置する。 「知知大学部仏教科を設置する。 「知知大学部仏教科を設置する。 「知知大学部仏教科を設置する。 「理解30	1888年			置する。
### 1992年 大学令により、仏教大学として影可される。		学制を更改し、仏教大学となる。	(平成14)	置する。
1922年 大学院は音学研究科経法学等取改修主課程を設置する。	1905年	専門学校令により、仏教大学として認可される。	(平成15) 2004年	設置する。
1949年 (用222) 1950年 短期大学部の教科を設置する。 1950年 短期大学部の教科を設置する。 1950年 短期大学部の教科を設置する。 1950年 大学院文学研究科格士課程(真宗学真宗史専攻、仏教学仏 (東東) 2009年 大学院文学研究科格士課程(真宗学真宗史専攻、仏教学仏 (東東) 2009年 大学院文学研究科格士課程(真宗学真宗史専攻、仏教学仏 (東京) 2009年 (中東計) 1950年 展現 2009年 (中東計) 1950年 大学院文学研究科格士課程と同士服程に真宗学、仏教学、哲学記書学科を設置する。 (中東計) 1950年 大学院文学研究科を上課程と博士課程に真宗学、仏教学、大学院文学研究科を上課程と持工規程に真宗学、仏教学、大学院文学研究科を上課程と持工課程に真宗学・研究科 1950年 大学院文学研究科を上課程と持工課程に真宗学・政府 2019年 (中東計) 1950年 大学院文学研究科を上課程と対理 2019年 (中東計) 1950年 大学院文学研究科を上課程と対理 2019年 (中東計) 1950年 大学院文学研究科を上課程と設置する。 (中東計) 1950年 大学院院学研究科経済学専攻修士課程を設置する。 (中東計) 1950年 大学院院所学研究科技術学等攻 (修士課程) 2019年 (中東大) 1950年 大学院院所学研究科技術学等攻 (修士課程) 2019年 (中東大) 1950年 大学院院所学研究科技術学等攻 (修士課程) 2020年 (中東大) 1950年 (中東大) 19			2005年	大学院法務研究科(法科大学院)法務専攻を設置する。
1950年   規則大学部仏教科を設置する。	1949年		2006年	アメリカ合衆国カリフォルニア州バークレーに海外拠点
1955年 大学院文学研究科経土課程(真宗学真宗史専攻、仏教学仏教学の表現 1955年 大学院文学研究科経工課程)を設置する。大学院理工学研究科技工程を設置する。 大学院理工学研究科技工程を設置する。		短期大学部仏教科を設置する。		を設置する。 大学院理工学研究科情報メディア学専攻、環境ソリューシ
1955年 大学院文学研究科権上課程(真宗学真宗史専攻、仏教学仏教史専攻)を設置する。 1960年 教史専攻)を設置する。 1960年 (環和20) を設置する。 経済学部経済学科を設置する。 経済学部経済学科を設置する。 経済学部に社会福祉科を増設する。 経済学部に社会福祉科を増設する。 経済学部に社会福祉科を増設する。 経済学部に社会福祉科を増設する。 経済学部に経営学科を設置する。 経済学部に経営学科を設置する。 経済学部に経営学科を設置する。 経済学部に経営学科を設置する。 経済学部に経営学科を設置する。 経済学部に経営学科を設置する。 経済学部に経営学科を設置する。 (電和10) 大学院文学研究科修士課程と博士課程に真宗学、仏教学、哲学、国文学、東洋史学、国文学等専攻を設置する。 (東京学、英学、国文学・東洋史学、成本学等攻を設置する。 大学院文学研究科経法学科を設置する。 大学院文学研究科経法学科を設置する。 大学院文学研究科経法学科を設置する。 大学院文学研究科を経営する。 大学院文学研究科を経営する。 大学院文学研究科を経営する。 大学院大学研究科を設置する。 大学院文学研究科技術学・社会福祉学専攻を設置する。 大学院大学研究科技術学専攻修士課程を設置する。	1953年		2009年	龍谷大学が創立370周年を迎える。
(甲裏25)   1961年 (	1955年	大学院文学研究科博士課程(真宗学真宗史専攻、仏教学仏		大学院理工学研究科情報メディア学専攻、環境ソリュー
国和49  1962年 (昭和37) 1963年 (昭和48) 1966年 (昭和48) 1966年 (昭和48) 1966年 (日本) 1967年 (東京学) 1967年 (東京学) 1967年 (東京学) 1967年 (東京学) 1967年 (東京学) 1968年 (日本) 1974年 (日本	(昭和35)	を開設する。		大学院政策学研究科政策学専攻(修士課程·博士課程)
(報和37)	(昭和36)			短期大学部こども教育学科を設置する。
1966年 (報和41)	(昭和37)			
哲学、国史学、東洋史学、自文学各事及企設置する。 (真宗学真宗史、仏教学仏教史各事及施世) 大学院文学研究科修士課程と博士課程に英文学専攻を設置する。 文学部生念学科を設置する。 文学部社念学科を設置する。 文学部社会学科を設置する。 文学部社会学科を設置する。 文学部社会学科を設置する。 大学院法学研究科修士課程と設置する。 大学院法学研究科技律学専攻修士課程を設置する。 (報和43) 1974年 (報和41) 1974年 (報和41) 1974年 (報和41) 1974年 (報和51) 1974年 (報和51) 1974年 (報和51) 1974年 (報和51) 1974年 (報和51) 1974年 (報和51) 1974年 大学院法学研究科社律学専攻修士課程を設置する。 大学院法学研究科社律学専攻修士課程を設置する。 大学院経済学研究科社学専攻修士課程を設置する。 大学院経済学研究科社会学・攻修士課程を設置する。 大学院経済学研究科社会学・攻修士課程を設置する。 大学院経済学研究科社会学・文修士課程を設置する。 大学院経済学研究科社会学・社会福祉学専攻(修士課程)を設置する。 分離し、博士課程に社会学、社会福祉学専攻(修士課程)を設置する。 分離し、博士課程に社会学、社会福祉学専攻(修士課程)を設置する。 大学院経済学研究科社会学・政博士課程を設置する。 有別500 (報和59) 1985年 (報和50) 1987年 (報和50) 1987年 (報和50) 1987年 (報和60) 1987年 (報和70) 1987年 (報和60) 1987年 (報和60) 1987年 (報和60) 1987年 (報和70) 1987年 (報和70	1966年			大学院文学研究科臨床心理学専攻(修士課程・博士課程)
1967年   大学院文学研究科修士課程と博士課程に英文学専攻を設置する。 法学部法律学科を設置する。	(昭和41)	哲学、国史学、東洋史学、国文学各専攻を設置する。		文学部史学科を歴史学科に名称を変更し、史学科国史学専
1971年		大学院文学研究科修士課程と博士課程に英文学専攻を設置		文学研究科国史学専攻を日本史学専攻に名称を変更する。
1971年 大学院文学研究科修士課程に社会学・社会福祉学専攻を設置する。 1972年 (昭和47) 1974年 (昭和47) 1974年 (昭和49) 1984年 大学院経済学研究科経済学専攻修士課程を設置する。 1982年 大学院経済学研究科経済学専攻修士課程を設置する。 1982年 大学院経済学研究科経済学専攻修士課程を設置する。 大学院経済学研究科経済学専攻修士課程を設置する。 大学院経済学研究科経済学専攻修士課程を設置する。 大学院経済学研究科経済学専攻修士課程を設置する。 大学院経済学研究科経済学専攻修士課程を設置する。 大学院経済学研究科経済学専攻修士課程を設置する。 大学院経済学研究科経済学専攻修士課程を設置する。 大学院経済学研究科経済学専攻修士課程を設置する。 大学院経済学研究科経済学専攻博士課程を設置する。 「個和60」 (昭和60) (昭			2015年	
1972年 (國和47)			( ( ( ) ) ( ) ( ) ( ) ( )	国際学部グローバルスタディーズ学科、国際文化学科を設
1982年 (昭和57)	(昭和47)	大学院法学研究科法律学専攻修士課程を設置する。		学校法人平安学園と法人合併する。 文学部歴史学科文化遺産学専攻を設置する。
1982年		大学院法学研究科法律学専攻博士課程を設置する。		龍谷大学付属平安高等学校が創立140周年を迎える。
1984年 (曜和99) 大学院文学研究科社会学・社会福祉学専攻(修士課程)を分離し、博士課程に社会学、社会福祉学も専攻を設置する。 大学院経済学研究科経済学専攻博士課程を設置する。 大学院経済学研究科経済学専攻博士課程を設置する。 個学生別科を設置する。 短期大学部専攻科仏教専攻を設置する。 短期大学部専攻科仏教専攻を設置する。 短期大学部専攻科仏教専攻を設置する。 短期大学部専攻科仏教専攻を設置する。 位 2020年 (常和92) (令和2) (令和2) (令和2) (令和2) (空間の 2020年 (常和92) (では、				
1985年 (関和60)         大学院経済学研究科経済学専攻博士課程を設置する。 大学院経営学研究科経営学専攻博士課程を設置する。 短期大学部専攻科仏教専攻を設置する。 短期大学部専攻科仏教専攻を設置する。 短期大学部専攻科仏教専攻を設置する。         2020年 (参和2)         ション専攻 (博士課程)を設置する。 先端理工学部を設置する。           1987年 (図和62)         能谷大学創立350年記念の一環として大津市瀬田大江町字横 谷に瀬田学舎を開設する。         2023年 (令和5)         心理学部心理学科を設置する。 農学部植物生命科学科を生命科学科を生命科学科に名称を変更し、資源生物科学科を生命科学科に名称を変更し、資源生物科学科を集学科に名称変更する。           1989年 (平成7)         理工学部数理情報学科、確子情報学科、機械システム工学 科、物質化学科を設置する。 社会学部社会学科、社会福祉学科を設置する。         2023年 (令和6)         大学院先端理工学研究科先端理工学専攻(修士課程・博士課程)を設置する。           1991年 (平成8)         大学院社会学研究科社会学専攻、社会福祉学専攻(修士課 程・博士課程)を設置する。         大学院先端理工学研究科先端理工学専攻(修士課程・博士課程)を設置する。		大学院文学研究科社会学・社会福祉学専攻(修士課程)を 分離し、博士課程に社会学、社会福祉学各専攻を設置		大学院国際学研究科国際文化学専攻、グローバルスタ
1987年 (昭和62)		大学院経済学研究科経済学専攻博士課程を設置する。 大学院経営学研究科経営学専攻博士課程を設置する。 留学生別科を設置する。		ション専攻(博士課程)を設置する。
1989年 (平成元) 理工学部数理情報学科、電子情報学科、機械システム工学 科、物質化学科を設置する。 社会学部社会学科、社会福祉学科を設置する。 大学院社会学科、社会福祉学科を設置する。 大学院社会学研究科社会学専攻、社会福祉学専攻(修士課 (年成3) 程・博士課程)を設置する。		龍谷大学創立350年記念の一環として大津市瀬田大江町字横		農学部植物生命科学科を生命科学科に名称を変更し、
(平成3) 程・博士課程)を設置する。		科、物質化学科を設置する。		大学院先端理工学研究科先端理工学専攻(修士課程・博士
		程・博士課程)を設置する。		

## 【参考】沿革(学校法人平安学園)

1876 (明治9) 年 本校の前身たる金亀教校を滋賀県彦根市に開校。 1902 (明治 35) 年 第3仏教中学と改称。 1909 (明治 42) 年 京都市の現在地に移転。 1910 (明治 43) 年 私立平安中学校と名のる。 1936 (昭和11) 年 室戸台風による校舎全壊のため、本館並びに普通教室20を新築。 1937 (昭和12) 年 理科教室を新築。 1947 (昭和 22) 年 新制度による平安中学校を設立。 1948 (昭和 23) 年 新制度による平安高等学校(普通)を設立。 1950 (昭和 25) 年 平安高等学校商業科及び仏教課程設置。 1952 (昭和 27) 年 図書館竣工。 1963 (昭和38)年 第1期工事(北校舎,体育館等)竣工。 1969 (昭和44) 年 第2期工事(南新校舎,本館改装等)竣工。 1970 (昭和 45) 年 亀岡グラウンド完成。 1975 (昭和 50) 年 創立 100 周年記念事業の体育館棟の大改修完成。 1976 (昭和51) 年 創立100周年。記念校舎等諸施設竣工。 1978 (昭和53) 年 商業科募集停止。 1979 (昭和54) 年 第3期工事(北校舎新館)竣工。 1982 (昭和57) 年 第4期工事(礼拝堂・図書館・普通教室)竣工。 1985 (昭和 60) 年 平沢興奨学金創設。 1986 (昭和61) 年 創立110周年。110記念体育館竣工。中高6ヵ年一貫制発足。 1995 (平成7) 年 龍谷大学と教育連携。 1996 (平成 8) 年 創立 120 周年。 1998 (平成 10) 年 創立 120 周年記念本館竣工。 2003 (平成 15) 年 男女共学校となる。光顔館竣工。 平安高等学校アスリート・クリエイト・プログレスの3コース制発足。 2006 (平成 18) 年 創立 130 周年。 2007 (平成 19) 年 至心館竣工。 2008 (平成 20) 年 龍谷大学付属平安中学校、龍谷大学付属平安高等学校と校名変更。 2012 (平成 24) 年 龍谷大平安ボールパーク竣工。 2014 (平成 26) 年 第1次リニューアル工事完工。 -北校舎耐震化・グラウンド人工芝化・照明 LED 化-平安高等学校アスリート・プログレス・選抜特進の3コース名変更。 2015 (平成 27) 年 第 2 次リニューアル工事完工。 - 南校舎耐震化・中庭コミュニケーションテラス・吹奏楽部練習場

(以降の沿革は、学校法人龍谷大学に併せて記載)

学校法人龍谷大学と法人合併。

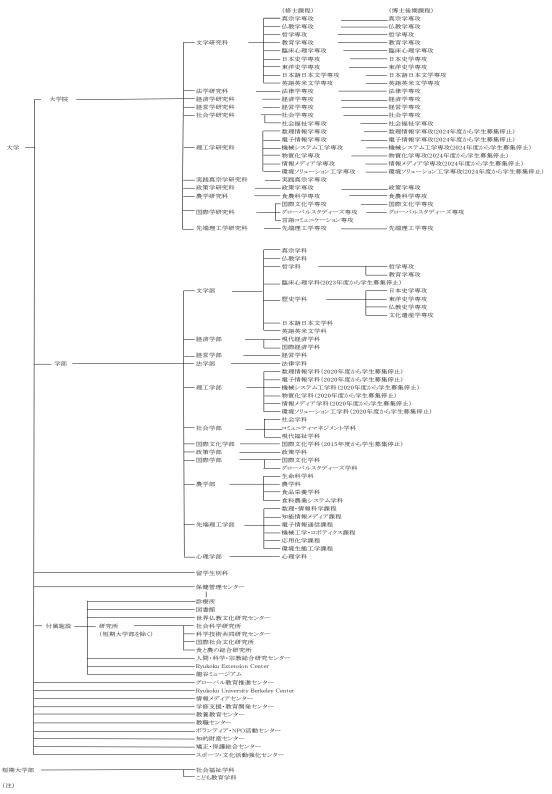
女子トイレ増設・全校舎トイレウォシュレット化ー

# 5 学部・研究科の目的

学部名	目的
文学部	建学の精神に基づいて、人文学の知的体系の研究・教授を通じ、現代社会の複雑な変化や諸問題に、自己を見失うことなく積極的・主体的に対応しつつ、社会に貢献できる教養及び専門性を備えた人間を育成することを目的とする。
経済学部	建学の精神に基づいて、経済学が培ってきた基礎的理論や社会の経済的諸現象を論理 的に分析する能力を修得し、さらに国際的・地域的な多様性を理解して、課題の発見 と解決に努める人間を育成することを目的とする。
経営学部	建学の精神に基づいて、経営学の理論を修得させることに加えて、実践的かつ実学的 素養を身につけさせることを教育理念とする。また、激しい時代の変化に対応でき、 社会から信頼される経営人を育成することを目的とする。
法学部	建学の精神に基づいて、日本国憲法の理念を基礎に、法学と政治学の教育・研究を通じて、広い教養と専門的な知識をもって主体的に行動し、鋭い人権感覚と正義感のもとに自ら発見した問題を社会と連携して解決できる、自立的な市民を育成することを目的とする。
社会学部	建学の精神に基づいて、多様な価値観が錯綜する現代において、人が営む共同体である「社会」のあり方を学び、人と人、人と組織や社会との関わり方やそこで発生する諸問題の分析・解決の視点と手法を身につけた人間を育成することを目的とする。
政策学部	建学の精神に基づいて、共生の哲学を基礎に、政策学の教育と研究を通じて広い教養 と専門的な知識を身につけ、社会の持続可能な発展のために主体的に行動するととも に、自ら発見した問題を社会と連携して解決できる、公共性を深く理解し、高い市民 性を持つ自立的な人材を育成することを目的とする。
国際学部	建学の精神に基づいて、異文化への理解と敬意を深めるとともに、自文化についての 発信力を養い、グローバル化が加速する時代において、柔軟な思考と批判的精神をも って対応できるコミュニケーション能力と問題解決能力を備えた人間を育成すること を目的とする。
農学部	建学の精神に基づいて、人類が直面する「食」と「農」に関する国内外の諸問題に対して真摯に向き合い、農学の立場から正しい判断ができる力を備えた、持続可能な社会の実現に貢献しうる人の育成を目的とする。
先端理工学部	建学の精神に基づいて、自然・社会と科学との調和を重視し、幅広い教養と理工学の 各専門分野における基礎知識・技能を身に着け、持続可能な社会の発展に貢献できる 高い倫理観を持った技術者・研究者を育成することを目的とする。
心理学部	建学の精神に基づいて、現代社会が抱える諸課題に対し、心理学の教育と研究を通じて得られる対人支援や良好な人間関係の構築に必要なコミュニケーション・スキルを身につけ、主体的かつ実践的に対応できる人間を育成することを目的とする。
短期大学部	社会福祉学科は、福祉全般にわたる基礎的教養を修得するとともに、専門及び隣接領域の知識や実践的能力を身につけた人材を養成することを目的とする。こども教育学科は、保育・幼児教育に関する専門的・実践的能力を身につけた人材を養成することを目的とする。

研究科名	目的
文学研究科	建学の精神に基づき、各専攻領域に関わる文献資料・史料に依拠し、確固たる基礎学力を基盤として独創的かつ精緻な研究を継承発展させ、自立して研究活動を行うのに必要な高度な研究能力、又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を培い、学術の振興と文化の発展に寄与することを目的とする。
法学研究科	「真実を求め真実に生きる」という建学の精神と日本国憲法の理念を基礎に、法学・政治学の領域で高度な研究・教育を通じ、世界と地域で活躍し、共生(ともいき)の社会を担う、人権感覚に溢れた研究者及び専門職業人の養成を目的とする。
経済学研究科	世界と地域社会における対話と共生に基づく平和と発展に貢献することを目指して、世界に対する深い理解と創造的な理論構築あるいは応用分析の能力を備えた研究者、高邁な理想と経済学的知識に裏打ちされた高い実践能力を持つ専門職業人等を育成することを目的とする。
経営学研究科	建学の精神をふまえつつ、経営学の高度で専門的な知識を会得するための研究の推進 及び応用能力の涵養を通じて、複雑な構造と機能をそなえた現代社会の要請にこたえ る専門職業人及び研究者を育成することを目的とする。
社会学研究科	多様な価値が錯綜する現代社会において、社会学・社会福祉学分野への社会的期待が 高まる中、建学の精神に基づき、社会的現実と理論的分析の往還を促す現場主義の教 育を通じて、高度の専門性と実践性を兼ね備えたバランスのとれた高度専門職業人、 研究者及び教育者としての能力をもつ人材を養成することを目的とする。
理工学研究科	本学の設立基盤である仏教の思想を基礎に置き高度の専門知識を有する科学技術者を 育成し、日本 の社会に貢献するとともに科学技術をあるべき道に導く指導者を育てることを目的と する。
実践真宗学研究科	本学の建学の精神である浄土真宗の教えに基づき、釈尊の教示した仏教、および親鸞の宗教を、世界的視野、かつまた地域的視点より実践的に領解し、現代における人間存在の根本問題、ならびに社会的存在として惹起する諸問題に、具体的に対応できる宗教的実践者としての能力を養成することを目的とする。
政策学研究科	建学の精神に基づいて、共生の哲学を基礎に、現代的で人類的な課題に対する専門知識に支えられた市民的思考力と、協働による課題解決アプローチを構想できる政策研究能力を修得し、政策の立案実施にかかる能力を持った人材を養成することを目的とする。
農学研究科	建学の精神に基づいて、高い倫理観と高度な専門知識、技能を併せ持ち、「食」と「農」 に関わる諸課題の解決と持続可能社会の実現、地域社会の活性化に寄与し、「食」と「農」 を対象とした学問研究の発展に貢献できる人材を養成することを目的とする。
国際学研究科	建学の精神に基づいて、グローバル化の加速的な進展のなかで、現在の国際社会が直面している諸課題・諸現象と批判的に向き合い、多様な文化が共生する社会の実現に向けて、国際的な舞台でリーダーシップを発揮し活躍できる高度専門職業人・実務家・研究者の養成を目的とする。
先端理工学研究科	建学の精神に基づいて、自然・社会と科学との調和を重視し、幅広い教養と理工学の 各専門分野における高度の専門知識・技能を身につけ、持続可能な社会の発展に貢献 できる高い倫理観を持った高度専門職人材・研究者を育成することを目的とする。

# 6 教育研究組織<龍谷大学・龍谷大学短期大学部>

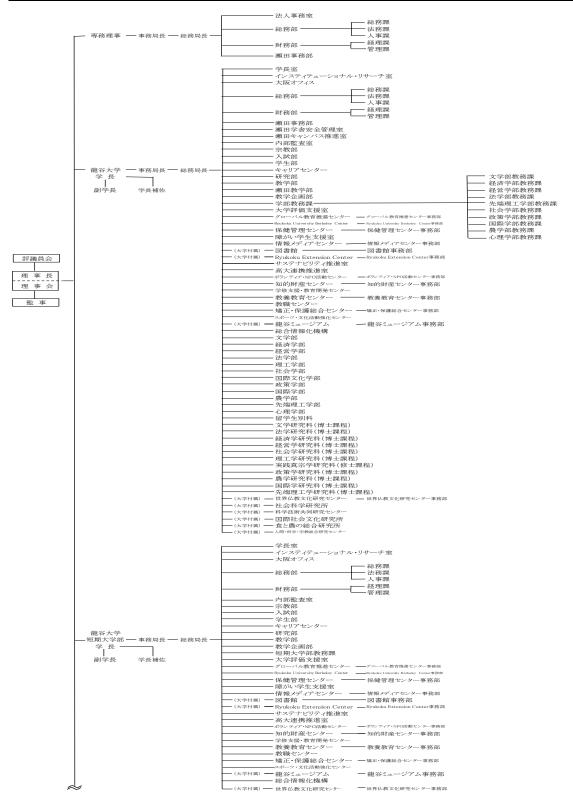


①大学学長は、短期大学部学長を兼ねる

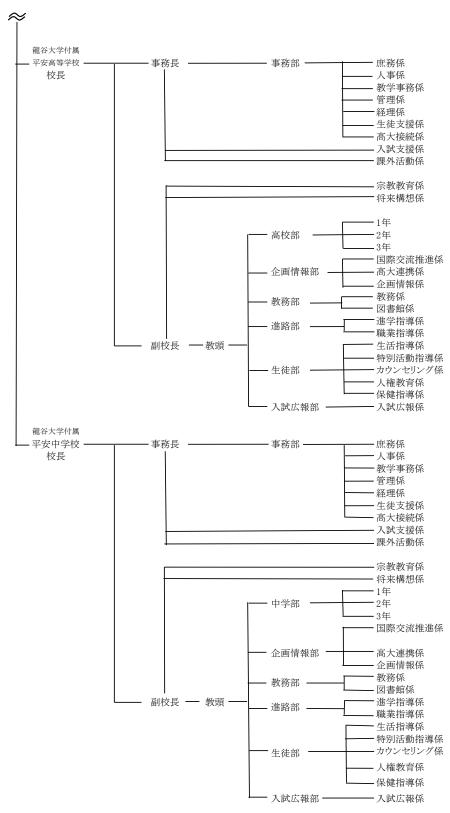
②大学の付属施設の内、診療所、図書館、世界仏教文化研究センター、Ryukoku Extension Center及び龍谷ミュージアムは短期大学部の付属施設を兼ねる。

③大学の保健管理センクー、グローバル教育推進センター、Ryukoku University Berkeley Center、情報メディアセンター、学修支援・教育開発センター、教養教育センター、教職センター、ボランティア・NPO活動センター、知的財産センター、矯正・保護総合センター及びスポーツ・文化活動強化センターは規則大学部の教学組織を指える。

## 7 法人組織機構図



(注) 龍谷大学の各学部、留学生別科、大学院各研究科、各研究所、各研究センター(世界仏教文化研究センターを除く、) 各学部教務課、瀬田事務部、瀬田学舎安全管理室、瀬田キャンバス推進室及び瀬田教学部を除く全ての組織法、龍谷大学短期大学部の組織を兼ねている。



(注) 龍谷大学付属平安高等学校の高校部を除く全ての組織は、龍谷大学付属平安中学校の組織を兼ねている。

# 8 学生·生徒数

# <龍谷大学>

(単位:人)

33¢ ±=	<u></u>		2024年	2024年度							
学部	学科	入学 定員	入学者数	収容 定員	在籍 学生						
	真宗学科	145	133	592	<del>- 子生</del> 5						
	仏教学科	118	134	482	4						
	哲学科	148	138	600	6						
文学部	臨床心理学科	-	-	-							
24.7 HP	歴史学科	267	269	1,086	1,						
	日本語日本文学科	101	95	408	.,						
	英語英米文学科	101	103	408							
	計	880	872	3,576	3,8						
	経済学部(1・2年次)	880	637	3,576	1,:						
级这些如		200	037	1.454	1,.						
経済学部	現代経済学科	360									
	国際経済学科	240		970							
- w w -	計	600	637	2,424	2,						
経営学部	経営学科	519	527	2,086	2,						
	計	519	527	2,086	2,						
法学部	法律学科	445	438	1,790	1,						
	計	445	438	1,790	1,						
	数理情報学科	-	_	-							
	電子情報学科	-	-	-							
TIII 244 40	機械システム工学科	-	-	-							
理工学部	物質化学科	-	-	-							
	情報メディア学科	-	-	-							
	環境ソリューション工学科	-	-	-							
	計	_	_	_							
	数理·情報科学課程	103	93	416							
	知能情報メディア課程	103	95	416							
	電子情報通信課程	103	87	416							
先端理工学部											
	機械工学・ロボティクス課程	113	103	456							
	応用化学課程	103	116	416							
	環境生態工学課程	103	104	416							
	計	628	598	2,536	2,						
	社会学科	210	217	850							
社会学部	コミュニティマネジメント学科	153	156	618	***************************************						
	現代福祉学科	195	195	840							
	計	558	568	2,308	2,						
政策学部	政策学科	308	323	1,242	1,						
	計	308	323	1,242	1,						
国際文化学部	国際文化学科	-	-	-							
	計	_	_								
C 100 2/ ±=	国際文化学科	372	373	1,528	1,						
国際学部	グローバルスタディーズ学科	135	135	560							
	計	507	508	2,088	2,						
	植物生命科学科	_	_	_							
	資源生物科学科	_	_	_							
	食品栄養学科	80	81	328							
農学部	食料農業システム学科	134	157	554							
	生命科学科	90	80	376							
	······································										
	農学科	134	117	554							
A TOTAL AC	計 2 7 8 9 7 7 1	438	435	1,812	1,						
心理学部	心理学科	255	254	1,040							
	計	255	254	1,040							
	合 計	5,138	5,160	20,902	20,						
<短期大学部>											
短期大学部	社会福祉学科	85	43	170							
<b>ルガハチ</b> 叩	こども教育学科	135	65	270							
	計	220	108	440							
<留学生別科>											
留学生別科		40	13	40							
			13								

(2024年5月1日 現在)

#### <大学院>

<大学院>		2024年度							
研究科	専 攻	入学	定員	入学	者数	収容	定員	在籍	学生数
WI 70, 114	4 2	修士課程	博士 課程	修士 課程	博士 課程	修士 課程	博士 課程	修士 課程	博士 課程
	真宗学専攻	20	5	18	4	40	15	23	17
	仏教学専攻	20	5	5	2	40	15	9	6
	哲学専攻	7	2	2	0	14	6	3	0
	教育学専攻	7	3	0	0	14	9	0	1
文学研究科	臨床心理学専攻	10	2	15	3	20	6	37	12
	日本史学専攻	7	2	10	3	14	6	30	12
	東洋史学専攻	7	2	7	0	14	6	14	2
	日本語日本文学専攻	7	2	5	3	14	6	12	6
	英語英米文学専攻	7	2	2	0	14	6	4	0
	· 計	92	25	64	15	184	75	132	56
法学研究科	法律学専攻	25	5	6	2	50	15	14	7
	計	25	5	6	2	50	15	14	7
—————————————————————————————————————	経済学専攻	30	3	10	1	60	9	16	3
	· 言十	30	3	10	1	60	9	16	3
————————————————————— 経営学研究科	経営学専攻	30	3	1	0	60	9	4	0
	計	30	3	1	0	60	9	4	0
	数理情報学専攻	_	_	_	_	_	_	5	0
	電子情報学専攻	_		_	_	_	_	13	1
	機械システム工学専攻	_	_	_	_	_	_	20	0
理工学研究科	物質化学専攻	_	_	_	_	_	_	28	1
	情報メディア学専攻	_		_	_	_	_	15	3
	環境ソリューション工学専攻	_		_		_		8	0
***************************************	計	0	0	0	0	0	0	89	5
 先端理工学研究科		100	10	98	3	200	30	98	3
<b>尤纳</b> 垤工于 <b>切</b> 九件	計	100	10	98	3	200	30	98	3
	社会学専攻	100	3	10	0	200	9	22	1
社会学研究科	社会子等校   社会福祉学専攻		3	2	1	20	9	6	7
	計	10	6			40	18		8
 国際文化学研究科	国際文化学専攻	20	b	12	1	40	18	28	0
国际人儿子听九科	計		_	0	_	_	0		0
中唯古中世界亦列		0	0	0	0	0	0	0	
実践真宗学研究科	実践真宗学専攻 計	30	_	4	-	90	-	21	_
<b>非华兴亚克利</b>	政策学専攻	30	-	4	-	90	-	21	10
政策学研究科	計	20	3	20	5	40	9	35	16
曲出ませる	1	20	3	20	5	40	9	35	16
農学研究科	食農科学専攻	30	5	32	5	60	15	72	19
	計画の数本ルヴェル	30	5	32	5	60	15	72	19
日曜台四かり	国際文化学専攻	7	2	5	3	14	6	14	7
国際学研究科	グローバルスタディーズ専攻	4	2	4	1	8	6	12	3
	言語コミュニケーション専攻	4	_	4	_	8	-	15	_
	計 	15	4	13	4	30	12	41	10
É	計	392	64	260	36	814	192	550	127

(2024年5月1日 現在)

# 【収容定員充足率の推移】

	年度	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
	在籍学生数	20,798	20,428	19,959	19,502	19,385	19,343	19,708	19,469	19,233
大学	収容定員	20,902	20,902	20,262	20,070	20,070	19,144	19,144	19,144	18,528
	収容定員充足率	99.5%	98%	99%	97%	97%	101%	103%	102%	104%
	在籍学生数	250	295	360	399	425	453	464	478	455
短期大学	収容定員	440	440	440	440	440	440	440	440	440
	収容定員充足率	57%	67%	82%	91%	97%	103%	105%	109%	103%

# <龍谷大学付属平安高等学校・中学校>

# • 中学校

1年	2年	3年	合計
93	80	81	254

# ・高等学校

コース	1年	2 年	3年	合計
アスリート	33	27	29	89
プログレス	351	330	282	963
特進	68	69	104	241
合 計	451	426	415	1,293

(2024年5月1日現在)

# 9 教育職員数

# <龍谷大学>

学 部 等	教 授	准教授	講師	助教	助手	実験実習 講師·助手	合 計
学長	0	0	0	0	0	0	1
文学部	53	26	8	0	0	1	88
心理学部	15	6	6	0	0	0	27
経済学部	28	15	7	0	0	0	50
経営学部	27	10	5	0	0	0	42
法学部	33	12	3	0	0	0	48
先端理工学部	52	20	13	4	0	16	105
社会学部	31	15	5	0	0	5	56
国際学部	26	11	2	0	0	0	39
政策学部	23	7	1	1	0	0	32
農学部	28	15	8	0	0	15	66
短期大学部	11	8	4	0	0	0	23
付置研究所	4	0	0	0	0	0	4
龍谷ミュージアム	3	1	0	0	0	0	4
合 計	334	146	62	5	0	37	585

(2024年5月1日現在)

# <龍谷大学付属平安高等学校・中学>

- 「胎ロハナロ海」タ	1-1 11 1	11.7		1	7	
教 科	専 任	特任	常勤	常任	非常勤	合 計
宗教	3	0	0	0	1	4
国語	11	1	2	1	11	26
数学	10	1	4	0	5	20
理科	7	0	1	0	5	13
社会	12	0	0	0	5	17
英語	14	0	2	1	13	30
情報	3	0	0	0	0	3
技術•家庭	1	0	0	0	2	3
芸術	1	0	0	0	3	4
保健体育	8	2	2	0	4	16
その他	4	1	1	0	0	6
合 計	74	5	12	2	49	142

(2024年5月1日現在)

# 10 事務職員数等

# <龍谷大学>

区 分	人 数
事務員	271
医務員	2
専任計	273
職務限定職員	171
嘱託職員	2
リサーチ・アドミニストレーター	3
嘱託医師	6
フェロー	5
教職進路指導員	3
スーパーバイザー	1
博士研究員	3
専任以外計	194
合 計	467

(2024年5月1日現在)

# <龍谷大学付属平安高等学校・中学校>

区 分	人 数
専任職員	10
嘱託職員	7
슴 計	17

(2024年5月1日現在)

# Ⅱ 事業報告の概要

#### 1 中期計画について

2024年度より始動した第2期中期計画<2024-2027年度>においては、本法人を取り巻く環境変化を踏まえ、「4つの事業テーマ」(A価値創造の推進、B体験価値向上、C経営革新及びD共創空間の創出)を新たに設定し、それにもとづき大学部門では21のアクションプランを、高等学校・中学校部門では7のアクションプランを掲げている。これらの計画を責任をもって推進するにあたり、私立学校法の改正を契機とし、ガバナンス改革に取り組み、寄附行為の変更認可を受けた。このことを踏まえ2025年度から新たな体制で学校法人の運営を行う。

#### (1) 大学部門

本学は、2020 年度から創立 400 周年を迎える 2039 年度までの 20 年間に及ぶ長期計画「龍谷大学基本構想 400」(以下、「構想 400」という。)を展開しており、2024 年度からは第 2 期中期計画 < 2024-2027 年度 > (以下、「第 2 中計」という。)を推進している。

2024年度は、第2中計の初年度にあたることから、各アクションプランにおける2027年度末時点の目標達成に向けた「推進計画シート」を策定し、順次、事業展開に着手した。あわせて、統括者(副学長・総務局長)によるリーダーシップのもと、各事業を推進することを目的として、新たに「経営企画懇談会」を開催し、各事業の進捗状況の確認や事業推進上の課題に対する対応方策を検討した。

#### ①第2期中期計画の概要

第2期中期計画 <2024-2027年度> サステナビリティへの「旅」一変革の加速へー Frontier of Change: Quest for Sustainability

#### 【第2中計の要諦】

- ➤ 「サステナビリティへの『旅』一変革の加速へ一」(Frontier of Change: Quest for Sustainability)を副題とし、旅(≒体験×共創×挑戦)を足掛かりに、価値創造へ
- ▶ 急激な環境変化や第3中計以降の18歳人口の減少局面を見据え、第2中計は「変革」を加速させる重要な4年間と位置づける

#### ②アクションプラン

【第2中計アクションプラン一覧(龍谷大学・龍谷大学短期大学部)】

#### A. 価値創造の推進

- A-1 社会課題の解決拠点化
  - ① 仏教 SDGs の推進による社会課題の解決拠点化

#### A-2 研究の高度化と社会実装の強化

- ② 地球規模の課題解決及び社会実装を見据えた研究の推進
- ③ 総合大学としての総合知による研究力の高度化を促進

#### B. 体験価値向上

- B-1 環境変化に対応する教育プログラムの開発と教育方法の高度化
  - 選抜から接続への転換を通じた学生募集改革、及び新たな学生像に対応した教育改革の一 体的推進
  - ⑤ 海外拠点の有効活用と拡充、グローバル教育プログラムの拡充
  - ⑥ 地球規模の視野に立ち、他者と協働し未来社会をデザインできる人材の育成・輩出
  - (7) 環境変化に対応した学修支援及び教育職員の資質向上
  - (8) 教学組織等の再編・統合・新展開

#### B-2 ひとりひとりに寄り添った学生支援体制と多様な体験の促進

- ⑨ 学生の主体的なキャリア形成の促進と個別最適化による支援の強化
- ① 正課外の諸活動を通じた多様な体験の促進

#### C. 経営革新

- C-1 価値創造を促進する組織への転換、人材のトランスフォーメーション
  - ① 大学、各学部・学科等における定員規模の最適化と競争力の最大化
  - ① 全体最適化が可能となる新たな財政の枠組み整備と収入の確保
  - DX の推進及び積極的なチャレンジが生み出されるような業務構造改革による価値創造型事 務組織への転換
  - 個人の能力とモチベーションを最大限引き出す組織・制度への転換と事務職員の能力・資質向上

#### C-2 意思決定の高度化とレジリエントな運営体制の構築

- (B) 非常事態に対して柔軟かつ迅速に対応することが可能な大学運営体制の確立
- (I6) 理事及び管理職位者の権限と責任の明確化並びに各種会議体の機能の再整理

## D. 共創空間の創出

- D-1 多様な価値観が集うキャンパスの実現
  - ① 多様なステークホルダーが集う「共創」拠点の具現化
  - (B) DE&I (ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン) の推進
  - (19) 自治体、企業・他法人等と連携した「共創型」運営体制の実現

#### D-2 キャンパスデザインの構築と戦略的広報

- ② 総合的なキャンパスデザインの構築
- ② 様々なステークホルダーとの共創による戦略的広報の推進

#### ③2024 年度における主な成果

2024年度における主な成果として、2025年4月新設の「経営学部商学科」、「社会学部総合社会学科」、「心理学研究科」の開設に向けた準備や広報活動の実施、さらには、2027年4月、瀬田キャンパスにおける新たな教学展開として、「情報学部」(仮称)及び「環境サステナビリティ学部」(仮称)の設置を意思決定したこと等が挙げられる。なお、上記の瀬田キャンパスにおける新学部構想は、国の「大学・高専機能強化支援事業※」に採択された。

第2中計では、エンゲージメントの向上や当事者意識の醸成、さらには業務改善に重点的 に取り組むことで、実行性を兼ね備えた推進体制を構築し、各アクションプランの着実な実 施展開が必要であると認識する。

※国の「大学・高専機能強化支援事業」とは、デジタル・グリーン等の成長分野をけん引する高度専門人材 の育成に向けて、これらの分野への学部転換等を支援する制度である。本学は、同制度の支援 1 (学部再 編等による特定成長分野への転換等に係る支援) に採択された。

#### (2) 高等学校・中学校部門

本校では、2024年度より第1期中期計画の成果と課題を踏まえて策定した「第2期中期計画<2024-2027年度>」を展開している。

#### ①第2期中期計画の概要

本校では、建学の精神に基づき、「真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする」ことのできる人間を育成することを第一義とし、第1中期計画中に策定した『教育基本構想 2030-HEIAN VISION 2030-』を基盤として次の教育展開をはかるともに、それに必要な財政・施設・人事(教職員)体制等を整備する。

- ・基礎学力の向上をはかり、龍谷大学の付属校として同じ建学の精神のもとで教育を受け た質の高い生徒を送り出す<プログレスコース>。
- ・国公立及び難関私立大学へ進学できる学力を身につけた質の高い生徒を送り出す<中高 一貫・選抜特進コース>。
- ・基礎学力を身につけるとともに、心・技・体・知を磨くことで、人間形成の向上をはかり、社会性を身につけた質の高い生徒を送り出す<アスリートコース>。

また本校は、2026 (令和8) 年に創立150周年を迎える。本校では、創立150周年を重要なターニングポイントとして捉え、本校が伝統を大切にしながら改革に進む学校であることを示すこと等を目指した第2期中期計画を展開している。

#### ②アクションプラン

【第2中計アクションプラン一覧(龍谷大学付属平安高等学校・中学校)】

#### A. 価値創造の推進

- ① いじめを許さない学校づくり
- ② 「三つの大切」を具現化する基盤教育の展開

#### B. 体験価値向上

- ③ 理数系教育の充実に向けた支援体制の充実
- ④ 生徒が主体的に学ぶ授業改革の推進

#### C. 経営革新

⑤ カリキュラム改革に連動する学校改革・財政改革の推進

#### D. 共創空間の創出

- ⑥ 生徒の学びが促進される教育設備環境の充実
- ⑦ 創立 150 周年を迎えリブランドされる学校価値の創造

#### ③2024年度における主な成果

2024年度は、中学校において、理数教育の一環で琵琶湖の水質調査や龍谷大学理系学部との連携事業を用いた理数探究合宿を実施した。高等学校ではプログレスコースにおいて、龍谷大学との高大連携事業である「ライフキャリアプログラム(以下、LCP)」を実施し、特に2024年度からはLCPのCプログラムとして龍谷大学一般選抜入試中期日程を受験し(実施日の翌日)、学習の到達度・習熟度を測った。

また、2024年4月より校長直属の補佐的組織として教育改革推進本部を設置し、これまでの諸課題を含めた教育改革を迅速かつ的確に実現するための「学校改革プラン」を策定した。

さらには、2025年3月に大学と付属平安との共同事業となる新校舎「黎明館」を竣工した。付属平安が使用する1階には、図書館機能を包括したHEIAN Media Lab.の他、カフェテリア、調理実習室、個別ブース40室を備えた自習室を配置した。

#### 2 中期計画における 2024(令和 6)年度の特徴的な取組

#### (1) 大学部門

#### ○新たな教学展開について

#### 大学院先端理工学研究科の開設

2024年4月、理工学研究科を改組し、新たに「先端理工学研究科」を設置した。先端理工学部の理念を土台に、幅広い教養と理工学の各専門分野における高度の専門知識・技能を身につけ、持続可能な社会の発展に貢献できる高い倫理観を持った高度専門職人材・研究者の育成を目的とし、特色ある6つのコースを設定し、専門分野の枠を超えた分野横断的な学びが可能となる弾力的なカリキュラム展開を図った。

修士課程では、大学院生としての幅広い教養と倫理意識を涵養する「大学院教養科目」を 開講するとともに、テーマに基づき科目をグループ化した「プログラム」科目群を設定した。 また、博士後期課程では、コースの垣根を超えて互いに研究内容を紹介し、ディスカッションする「サイエンスコミュニケーション」を開講し、異なる研究領域への理解とプレゼンテーション能力の育成を図った。





#### 社会学部総合社会学科、経営学部商学科、大学院心理学研究科の開設に向けた準備

#### ①社会学部総合社会学科

新たな教学展開に向けて、文化・芸術・エンタテインメント・スポーツ関連事業を展開するぴあ総合研究所株式会社と連携し、同社の有するネットワークを活用して、新学科の特色となるプロジェクト科目群の充実や、社会連携の取り組みの可能性を拡充する方策を具体化した。その一方策として、同社から客員教授を招聘することを決定し、連携体制の構築を行った。



また、国際化と学問領域の融合を進める方策の一環として社会学部独自の海外プログラム「海外フィールドワーク」の実施に向けて、連携先のネパール、中国、オーストラリアを訪問し、プログラム内容の具体化を進めた。

さらには、現場主義を体現する実習教育充実のため、新棟間思館4階に実習サポート施設「プロジェクトワークルーム」を整備した。

#### ②経営学部商学科

2025年4月に新たに「商学科」を設置することを目指し、経営学部を「経営学科」と「商学科」の2学科体制に改組した。

新設する商学科では、「建学の精神に基づいて、事業創造とマーケティングの知識と幅広い教養を身につけ、実践的な学びを通じて社会の諸課題を実証的に把握し、市場や地域社会

において継続的に新たな価値を創造し提供することのできる人間を育成すること」を教育理念・目的とし、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、「事業創造コース」と「マーケティングコース」の2コース(履修モデル)からなるカリキュラムを構築した。



なお、商学科のもとに「事業共創センター」を、

経営学科のもとに「競争的リーダー育成センター」を設置し、両学科ともに産学官連携活動 や国内外の研究機関・企業との連携を積極的に進めていくこととしている。

#### ③大学院心理学研究科

2025年4月から開設する心理学研究科は、心理学の高度な専門性とコミュニケーション・スキルを修得し、心理学的支援を担うことのできる高度専門職業人や研究者の養成を目的

としている。研究科開設に向け、2024 年度はより詳細にカリキュラム内容を詰め、システム設定を行った。

また、心理学部長及び前身である文学研究科臨床 心理学専攻の現役学生による説明会をハイブリッド 形式で 2 回実施する等、広報に努めた。説明会では 心理学研究科におけるカリキュラム、公認心理師受



験資格課程を履修する上での時間割や現場実習等について説明を行った。

#### 〇大学政策の推進方策について

2024年度より、「構想 400」実現のための予算枠として、「大学政策推進費」を新設した。 この「大学政策推進費」は、既存の「構想 400 アクションプラン事業費」、「学部教学充実 費」及び「採択型学部等教学充実費」に加え、2024年度に新設した「大学院教学充実費」及 び「全学共創充実費」の5つの費用を包摂した予算費目として位置づけている。

#### <大学政策推進費>

- (1) 構想 400 アクションプラン事業費
  - ○構想 400 A P に即した学部や部署が連携して実施する事業費用
- (2) 学部教学充実費
  - ○各学部における教学充実費用
- (3) 採択型学部等教学充実費
  - ○新たな教育プログラム創出に係る費用
- (4) 大学院教学充実費
  - ○大学院の改革・充実に資する費用
- (5) 全学共創充実費
  - ○全学的な教育研究環境充実のための教育コーディネーター、URA等に 係る事業経費

#### (1) 構想 400 アクションプラン事業費による教学展開

構想 400 の実現に向け、アクションプランに基づき学部や部署が連携しながら実施する 事業に対して予算枠を設け、各種事業を推進した。具体的には、次頁の一覧に示す計 33 事業(事業予算合計 168,319 千円)を実施した。

#### 構想 400 アクションプラン事業費 事業一覧

No.	事業名	主担当部署
1	深草キャンパスの施設整備に伴うキャンパスの空間デザイン演出	学長室 (広報)
2	瀬田キャンパス活性化の推進にかかる総合戦略費	瀬田キャンパス
3	外部人材とのネットワーク構築	推進室
4	無人コンビニの運営補助	
5	瀬田キャンパスにおける電動アシスト型シェアサイクルの導入	瀬田事務部
6	学生宿泊施設における予約システムの導入	
7	課外活動の活性化を目的としたオンラインチャリティイベントの	
/	参加	学生部
8	大学生活スタートアップ事業	
9	瀬田キャンパスにおける理系学生に対する就職活動支援充実	キャリア
10	卒業生アンケートの実施	センター
11	研究広報の強化施策	研究部

No.	事業名	主担当部署
12	ライフイベントに係る研究活動復帰支援制度	研究部
13	データサイエンス教育プログラムの実施	教学部
13	英語科目における外部試験の導入	海口茶分型
14	英語力の向上を目指す多読指導	瀬田教学部
15	学生状況把握に係るアセスメントテストの実施	
16	学生による授業観察にもとづく授業支援の実施	松兴人声初
17	教学マネジメントの確立に向けた教学 I Rの充実・強化	教学企画部
18	ライティングサポートセンターの運営	
	文学部における学科・専攻横断型の人文系 PBL 科目の運営(旧:地	
19	域協働と学科・専攻横断による実践的学修プログラムの構築-人	- <b>-</b>
	文知を活かした新たな社会活動の試み-)	文学部教務課
20	大宮コモンズにおけるスチューデントコモンズの運営	
01	地域連携型教育(CBL)プログラムのモデル化および質保証の	北空沙如料双针
21	実質化	政策学部教務課
22	「STEAM 版コモンズ」を活用した学生の主体的学修活動支援	<b>火热油工学如</b>
23	先端理工学部グローバル人材育成を目指すASEAN体感プログ	先端理工学部 教務課
23	ラム	<i>农</i> 外分床
	   先端理工学部・農学部 公募推薦入学者を対象とした入学前課題	先端理工学部教
24	の実施	務課・農学部教
	V7天旭	務課
25	低炭素社会の実現に向けた食料システム構築のための「アグリ	農学部教務課
	DX」人材の育成	72 1 HP424716N
26	<大学生活スタートアップ事業>フレッシャーズキャンプにかわ	短期大学部
	る学生生活ガイダンスの実施 (短期大学部)	教務課
27	グローバル・キャリア・チャレンジプログラム Global Career	
	Challenge Program	グローバル教育
28	龍谷大学グローバルパスポート制度の導入	推進センター事
	イングリッシュラウンジを活用した実践的な英語コミュニケーシ	務部
29	ョン力の養成~「使える英語」を身につけるための学生の自学自	173 HP
	習支援のための環境整備~	
30	   障がい学生支援の充実 (UD トーク)	障がい学生
		支援室
31	   サステナビリティ推進に係る各種事業の実施	サステナビリテ
J1		ィ推進室
32	個人の能力とモチベーションを最大限引き出す組織・制度への転	人事課
<u> </u>	換と事務職員の能力・資質向上	/ ₹ P/N
33	BCP(Business Continuity Plan)の策定・運用	総務課

## (2) 学部教学充実費による教学展開

#### 学部教学充実費 事業一覧

学部独自の教学促進を目的とした事業に対して予算枠を設け、社会学部改組移転を契機とした特色ある海外プログラムの構築事業や、複数の学部において、初年次の学生に対する 読解力や文章表現力の強化を目的とした事業、キャリア形成支援事業、将来的なカリキュラム改革を見据えた調査事業など、全学で計 46 事業 (事業予算合計 62,651 千円) を実施した。

No.	事業名	主担当部署
1	文学部における履修証明プログラムの実施	
2	今後の教学展開検討に向けた現状分析調査	
3	文学部における体験型講義の実施	
4	文学部入学生を対象とした基礎学力の向上	
5	文学部基礎演習における「クリティカルシンキング・ロジカルラ	文学部教務課
5	イティング」講義の実施	
6	文学部における学科横断型授業プログラムの開発と実施	
7	文学部における低年次を中心とした学修支援体制の構築	
8	文学部歴史学科文化遺産学専攻シンポジウムの開催	
9	心理学部におけるキャリア関連科目の展開	
10	「フレッシャーズゼミ」におけるクリティカルシンキング・ロジ	心理学部教務課
10	カルライティング講義の実施	
11	経済学部「フェスタ」開催による主体的学びの発信	
12	経済学部における授業内ピア・サポーター制度の導入	
13	経済学部での初年次教育におけるクリティカルリーディングの向	
13	上	経済学部教務課
14	経済学部でのデータサイエンス教育の充実を目的とした「日経・	
14	授業支援パッケージ」の導入	
15	経済学部における海外研修プログラムの実施	
16	高校生・大学生がともに学べる社会人基礎力体験プログラム(経	
10	営学部-附属平安高等学校連携事業)	· 経営学部教務課
17	プログラム科目「現代中国のビジネス」の実施にかかる学生への	
17	補助	
18	今後の教学展開検討を見据えた現状分析事業(法学部)	
19	キャリア啓発科目の開設	 - 法学部教務課
20	法学部版アクティブラーニング推進事業	127 117 4247 175
21	法学部「法政ブリッジセミナー」の運営補助	
22	グローカル人材育成にかかるグローカルフォーラムへの参加	
23	Ryu-SEI GAP 学生と教員が協働して取り組む ActiveLearning の	政策学部教務課
23	新たな展開	

No.	事業名	主担当部署
24	「政策実践・探究演習(海外)」欧米プログラム	
25	「政策実践・探究演習(海外)」アジアプログラム	政策学部教務課
26	政策学部生の TOEIC テスト受験に対する支援事業	以來子部教務旅
27	Zoom を用いた教育展開の実施	
28	TOEIC IP テスト受験料補助	国際学部教務課
29	海外インターンシップ受入先開拓	国际于印织伤床
30	先端理工学部科目「フレッシャーズセミナー」におけるロジカル	
30	ライティング講義の実施	- 先端理工学部
31	先端理工学部3年次生を対象とした TOEIC® Listening & Reading	教務課
31	Test (IPテスト) の団体受験	4义/分 床
32	先端理工学部の教育資源・成果に関する情報発信の強化	
33	改組・移転にかかる調査分析	社会学部教務課
34	社会学部改組に伴う新学部独自海外プログラムの構築	11. 公子 司 教 伤 休
35	農学部生の専門キャリアを見据えた資格取得支援事業	
36	食の循環実習における主体的学修を促す取り組み	
37	大学ブランド商品(大学農場の収穫物を活用した)開発を通した	
37	特色ある教育の展開	- 農学部教務課
38	農学部生の TOEIC テスト受検推奨・支援事業	展子即
39	「GPS-Academic」の実施	
37	(旧)「大学生基礎カレポートⅡ」の実施	
40	理系学部における文系学科学生へのキャリア教育の充実	
41	「いのち」を考えるための実践的教育プログラム	
42	『ともに支援する<いのち>』プロジェクト	
43	こども教育多目的室の活用事業	短期大学部
44	企業と連携した製品アイデアコンテストの実施(農学部と共催)	教務課
45	実習教育を補完する社会福祉フィールドワーク	
46	1年生のためのキャリアアップガイダンス	

## (3) 採択型学部等教学充実費(龍谷 IP 事業) による教学展開

新たな教育プログラムの創出により、本学の教学促進・充実を図ることを目的とした企画 採択型事業「龍谷 IP」(Ryukoku Inventive Program) として、部署連携・全学組織申請型 4事業、学部単独申請型4事業、萌芽型1事業の計9事業(事業予算合計33,984千円)を 展開した。

あわせて、各取組の進捗状況や成果について、学内で共有化を図るとともに、大学ホームページ等で広く社会に情報発信した。また、2025年度龍谷 IP を募集し、新たな教学シーズの掘り起こしと学内における教育改革・改善に向けた意識の向上を図った。

#### 採択型学部等教学充実費 事業一覧

No.	種別	取組名称	取組主体等
1	部署連携	龍谷大学だからこその3キャンパス共通オンライン授業の展開	ユヌスソーシャルビジネスリサーチセンター、仏教 SDGs 推進協議会、学修支援・教育開発センター、教学部
2	•	産農学連携をベースとした複合領域型プロ ジェクトの推進	農学部・経営学部
3	全学組織申請型	瀬田学舎の教育基盤充実のための"Ryukoku Botanical Garden"整備を通じた実践型学 修プログラムの展開	農学部・先端理工学部
4	型	社会連携型ソーシャル・イノベーション人 材養成プログラム	政策学研究科・龍谷エクステン ションセンター
5	学	ビジネスの手法を用いた社会課題解決のた めの教育プログラム開発	経営学部
6	部単独	法学部メンターシッププログラムの挑戦的 拡充	法学部・キャリアセンター
7	学部単独申請型	市民的教養を起動する教養教育プログラム の開発	教養教育センター
8	坐	京都府および「京都老舗の会」との連携に よる地域産業活性化プロジェクト	経済学部
9	萌芽型	「国際共修科目」の設置に向けた調査および FD の展開	グローバル教育推進センター

#### (4) 大学院教学充実費による教学展開

「大学院教学充実費」の活用方策として、各研究科に行った実態・ニーズ調査を踏まえ、新たに「大学院研究活動奨励・支援制度」を創設し、2024年11月から運用を開始した。 「大学院研究活動奨励・支援制度」は次の6つの支援制度を設けている。

- ・「学会活動支援」: 学会入会費・年会費、学会参加・研究発表を行う際の費用を支援
- ・「調査等活動支援」:フィールド調査・学外機関訪問等に関する宿泊・交通費を支援
- ・「論文投稿支援」: 学会やジャーナル等へ論文を投稿する際の論文投稿料を支援
- ・「論文校正支援」: 外国語による論文の校正にかかる業者への委託費用を支援
- ・「自主研究会運営支援」: 大学院生の自主的な研究会の企画に関わる費用を支援
- ・「博士論文出版支援」: 博士学位取得者が博士論文を出版する際の経費の一部を支援

大学院教学を充実させ、より魅力あるものにしていくためには、大学院生自身が研究科での研究活動を充実させ、満足のいく研究成果を生み出すことが重要である。

これまで本学では、研究科の特徴に基づいた大学院生への研究支援制度を各研究科それぞれで実施してきたが、対象となる研究活動が限られていた。

そのため、「大学院研究活動奨励・支援制度」では、多くの大学院生が活用できるように、 すべての研究科に共通する基盤的な研究活動支援制度として構築した。さらに、各研究科独 自の特徴を活かした支援制度も併用できるようにし、重層的で充実した支援制度となって いる。

「大学院研究活動奨励・支援制度」には、2025年1月現在で約140件の申請があり、多くの大学院生が制度を活用して研究活動を進めている。今後は、大学院生へのアンケート等に基づく分析を踏まえ、より大学院生が研究活動を推進していくにあたって有意義な支援制度となるよう改善を図っていくとともに、大学院教学の更なる充実へ向けて「大学院教学充実費」の他の活用方策についても、引き続き検討をすすめていく。

#### (5) 全学共創充実費による教学展開

「全学共創充実費」については、今後、全学的な教育研究環境充実に係る事業計画が具体 化した段階で予算化する。

## 〇研究力の強化を図るための取組について

#### リサーチ・アドミニストレーター (URA) について

2024 年度から、研究戦略支援や産学連携支援等の専門職としてリサーチ・アドミニストレータを研究部(瀬田)に1名、REC 事務部に3名任用した。リサーチ・アドミニストレータの任用により、本学の先端理工学部・農学部教員を中心とした研究IR の推進や国の政策の情報収集、産業界の研究開発の動向分析を進めることができた。また、これら本学の研究に関わる分析結果や国の政策を定期的に関係者で報告する場を設け、現状や今後の取り組み課題等を共有することができた。

さらには、リサーチ・アドミニストレータが教員との関わりのなかで研究内容の理解を深めることができ、次年度以降の外部研究費申請に向けての連携準備や研究に関する環境整備のための現状把握に繋げることができた。

#### 龍谷フラッグシップ研究 PJ・学際的研究 PJ について

本学の多様な専門性を持つ研究者による学際的かつ高度な研究を進める研究拠点を形成するため、「龍谷フラッグシップ研究プロジェクト」1件、「学際的研究プロジェクト」3件を2024年度から新たにスタートさせた。

龍谷フラッグシップ研究 PJ では、生物多様性科学研究センターの環境 DNA 分析を用いた 社会実証研究をステークホルダーに分かりやすく伝えるため、新たにホームページ特設サイトを制作した。また、2 年目となる経済産業省成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech 事業)として、株式会社フィッシュパスと公益財団法人ふくい産業支援センターとともに、「水産業の振興と生態系保全を目的とした、環境 DNA調査の社会実装を実現するプラットフォームの開発」に取り組んだ。 学際的研究 PJ では、革新的材料プロセス研究センターが、公益財団法人りそな中小企業振興財団(技術懇親会)、龍谷エクステンションセンター(REC BIZ-NET 研究会)との共催によりシンポジウムを開催し、社会実装を目標に掲げるセンターのコンテンツを発信、地元企業との連携の糸口とした。また、各研究センターが国内外から研究者を招聘して研究会を開催した他、国際学術会議等で研究発表するなど、活発な研究活動を展開した。

#### 龍谷フラッグシップ研究プロジェクト 一覧

No.	研究テーマ
1	生物多様性保全に向けた技術革新と保全行動の社会的価値の実質化

#### 学際的研究プロジェクト 一覧

No.	研究テーマ
1	文化財・学術資料のデジタルアーカイブによるデジタルヒューマニティーズと多面
1	的公開の基盤形成
2	カーボンニュートラル社会の実現に向けた革新的材料・プロセス研究
0	微生物の有用機能を介した発酵醸造学とスポーツ栄養学の融合とマネジメントによ
3	る滋賀県域における応用展開

# 〇深草キャンパス施設整備計画について

2025 年 4 月の社会学部の深草キャンパス移転と新たな教学展開を踏まえた施設整備計画に基づき、北エリアに「灯炬館」、南エリアに「慧光館」、「聞思館」、南北エリアをシームレスにつなぐ上空通路「結連橋」を整備した。また、「深草を森にする」というコンセプトの具現化にあたっては、生物多様性を意識した植栽選定や共用部エリアの整備を行った。

なお、キャンパスの省エネルギー化実現にあたっては、新棟の屋上に太陽光パネルを設置 することで実現した。







## ○瀬田キャンパスの活性化・施設設備の充実について

瀬田の目指す姿である「共創をキーワードに龍谷大学の変革を先導するキャンパス」を具現化するため、その活性化方策の推進に向け整理された考え方「先導」「共創」「デジタル」「グリーン」を踏まえた取り組みを実施した。瀬田キャンパスの学生を対象とした取り組みとしてソフトバンク株式会社と連携し、最先端テクノロジーを活用した「スマートキャンパスハッカソン」をはじめ、プログラミング講座やLINE公式アカウントの活用講座を開催する等、所属学部や学年の垣根を超えた学びを提供した。





地域脱炭素に資する取り組みとして、令和6年度 国土交通省「共創・MaaS 実証プロジェクト (人材育成事業)」に採択され、滋賀県甲賀市及び滋賀県守山市等と連携し、各自治体の人流データを用いたワークショップ等を実施する等、地域の脱炭素や交通課題の解決に向けた検討機会を提供した。また、ネイチャーポジティブ宣言を具現化する取り組みの一つとして、瀬田キャンパスに隣接する「龍谷の森」と台湾苗栗県南庄郷蓬萊部落に位置する里山を森林教育の拠点として、教育研究や国際交流等を行うべく、友好森林関係にかかる覚書を締結した。

施設整備の充実では、樹心館と2号館エリアを瀬田の新たな交流・共創スペースに位置づけ、学生や研究者の共創を促す新施設として、ウッドデッキ「Green Deck (グリーンデッ

さらに、学生用の教育研究用宿泊施設「Rest Nest (レストネスト)」を整備し、遅くまで実験・実習や研究活動に取り組む学生の支援につなげた。また、瀬田キャンパス施設検討委員会を設置し、基本構想 400 期間における同キャンパスの教育研究活動の更なる充実・発展に向けた検討と連関させた施設改修計画の策定に着手した。

キ)」、「Sky Deck (スカイデッキ)」を整備した。







# 〇イノベーションハブ拠点「共創 HUB 京都」(仮称)について

社会課題の解決や新たな価値創造を牽引する拠点として、京都駅前に「共創 HUB 京都」 (仮称)を開設する計画である。地上8階建ての同施設では、龍谷大学と京都信用金庫、大 阪ガス都市開発の3者でコンソーシアムを組織し、スタートアップ支援に特化した京都信 用金庫の支店や、多様な学生や社会人などの交流を促す龍谷大学のサテライトキャンパス、 さらには、5~8 階に交流型賃貸マンション及び学生寮を設けることで、同拠点に集い・暮 らす人々が社会課題の解決の担い手として活躍することを目指している。

2028年4月より始動すべく、2024年度は今後の法人決定に向けて学内外の関係機関と検討を重ねた。

#### 「共創 HUB 京都」コンセプト

「集い」・「暮らし」・「挑戦し」・「創る」が有機的に循環する共創型の新しいエコシステム –



【共創 HUB 京都 イメージ】



【共創 HUB 京都の主な機能(予定)】

### (2) 高等学校・中学校部門

### 〇生徒が輝く学校づくりに向けて

「学校生活が楽しい」と生徒が心から思える環境づくりに目指し、2023 年 4 月に制定した「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめを許さない学校づくりに努めるとともに、毎朝の「仏参」等、建学の精神に基づく「宗育(徳育)」を根幹とする教育により、他を思い遣り、人がともに成長できる環境の構築に努めた。

また、学園祭指導委員会等を通じて体育祭や文化祭等の学校行事の運営方法について生徒と教職員が直接話し合うことで学校生活における充実感、満足度を高めるとともに、生徒が主体的に生徒会活動やクラブ活動に取組めるよう配慮した。

### 〇特色ある教育の取組について

中学校では、理数教育の一環で琵琶湖の水質調査や龍谷大学理系学部との連携事業を用いた理数探究合宿を実施した。また英語教育では毎年実施している English Day を高校生と連携して実施し、生徒の英語コミュニケーション能力向上を目指した。高等学校では、「総合的な探究の時間」を軸に生徒が主体的に学ぶ機会を提供した。

プログレスコースでは、龍谷大学との高大連携事業である「ライフキャリアプログラム (以下、LCP)」を実施し、特に 2024 年度からは LCP の C プログラムとして龍谷大学一般選 抜入試中期日程を受験し(実施日の翌日)、学習の到達度・習熟度を測った。

### ○校長を中心としたガパナンス改革について

2024年4月より校長直属の補佐的組織として教育改革推進本部を設置し、これまでの諸課題を含めた教育改革を迅速かつ的確に実現するための「学校改革プラン」を策定した。

また、2027 年度からのコース再編や国際交流の拡大、組織体制のスリム化、学校規模の 適正化についての情報を職員会議等で共有し、教職員のエンゲージメントを高めるよう取 り組んだ。

### 〇施設等の充実について

2025年3月に大学と付属平安との共同事業となる新校舎「黎明館」を竣工した。付属平安が使用する1階には、「主体的・自主的な学び」と「協働的・対話的な学び」が共存するスペースを設けており、図書館機能を包括したHEIAN Media Lab. の他、カフェテリア、調理実習室、個別ブース40室を備えた自習室を配置した。

なお、2-3 階には大学施設があり、心理学部生を中心とした学生が「黎明館」で学ぶこととなる。





# Ⅲ財務の概要

# -2024(令和6)年度決算の概要-

# 1 学校法人龍谷大学の決算について

学校法人龍谷大学の決算は、龍谷大学・龍谷大学短期大学部及び龍谷大学付属平安高等学校・中学校に係る決算を計上している。

龍谷大学・龍谷大学短期大学部において、2024年度における特徴的な取り組みとしては、2025年度に実施する社会学部の深草キャンパスへの移転、経営学部商学科及び心理学研究科の設置に向けた準備等をおこなうとともに、社会学部移転後を見据えた瀬田キャンパスの活性化を図った。

教育面においては、瀬田キャンパスの学生を対象とした取り組みとして学外企業と連携し、最先端 テクノロジーを活用した「スマートキャンパスハッカソン」の実施や、大学院教育の充実を目的とし た「大学院研究活動奨励・支援制度」を創設した。

研究面では、研究戦略支援や産学連携支援等の専門職としてリサーチ・アドミニストレーターを新しく任用し、国の政策の情報収集、産業界の研究開発の動向分析を行うことで、更なる研究の深化や外部研究費の獲得に向けた環境整備を行った。

学生支援に関しては、課外活動の活性化を目的としたオンラインチャリティイベントへの参加の他、 キャリア教育・就職支援、障がいのある学生の支援やボランティア活動の支援など、様々な面から充 実を図った。

施設面では、構想 400 期間上半期 10 年における深草キャンパス施設整備計画として、北エリアに「灯炬館」、南エリアに「慧光館」、「聞思館」、南北エリアをつなぐ上空通路「結連橋」を整備した。また、これら新棟の屋上には太陽光パネルを設置し、キャンパスの省エネルギー化等にも取り組んだ。

付属平安高等学校・中学校においては「『教育基本構想 2030 (HEIAN VISION 2030)』に基づく教育の実践」、「中・長期的視点に立った人事計画に基づく人件費の抑制」、「事業目的別予算管理の徹底と計上経費の適正化」を実践すべく予算を編成し、実施してきた。

教育展開については、2022年度から、高校において新たな学習指導要領が施行されたことに伴い、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、2022年度入学生より新たな教育課程(教科の授業時数)に基づく授業・指導・評価方法等を推進した。また、高等学校・中学校ともに「総合的な探究の時間」(高等学校)、「総合的な学習の時間」(中学校)では仏教×SDGs を中心に据えた教育活動を展開した。

平安エリア施設設備整備事業については、龍谷大学との共同整備事業として建設した黎明館が3月に竣工した。高等学校・中学校が使用する1階には、HEIAN Media Lab (個別自習室40席や図書館など)、自習室機能も備えたカフェテリア・カウセリングルーム等を完備し、自走力を養成する空間を創出した。さらに、新たに新南校舎の整備に向けた第2期工事に着手し、新南校舎建築を進めているところである。

事業活動収支決算においては、事業活動収入は363億5千8百万円、事業活動支出は319億1千9百万円となり、基本金組入前当年度収支差額は、44億3千9百万円(予算比5億4千8百万円の増く前年度比38億1千2百万円の増入)となった。

その結果、基本金組入額43億9千3百万円を控除した当年度収支差額は、4千5百万円(予算比5億9千1百万円の減く前年度比27億8千万円の増〉)となり、前年度繰越収支差額マイナス150億2千6百万円と合わせ、翌年度(2025年度)への繰越収支差額はマイナス149億8千万円となった。

本法人の資産について、資産総額は1,882億円、負債総額は361億円となった。その結果、純資産 (正味財産)は1,520億円となり、前年比44億3千9百万円の増となった。

なお、学校法人龍谷大学における決算の詳細については以下のとおりとなる。

### 1 事業目的別収支計算書

### 事業目的別収支計算書<2024(令和6)年4月1日~2025(令和7)年3月31日>

_(収入の部)				(支出の部)			(単位:円)
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
1. 学生生徒等納付金収入	26, 363, 657, 000	26, 350, 947, 036	12, 709, 964	1. 人件費支出	16, 297, 261, 000	16, 376, 303, 194	△ 79, 042, 194
2. 手数料収入	1, 541, 271, 000	1, 792, 794, 375	△ 251, 523, 375	2. 教育研究費支出	9, 049, 367, 000	8, 597, 842, 892	451, 524, 108
3. 寄付金収入	343, 095, 000	319, 746, 995	23, 348, 005	3. 管理維持費支出	2, 481, 187, 000	2, 405, 893, 133	75, 293, 867
4. 補助金収入	5, 353, 858, 000	4, 801, 823, 242	552, 034, 758	4. 職員厚生福利費支出	188, 744, 000	54, 203, 801	134, 540, 199
5. 資産売却収入	329, 999, 000	330, 000, 000	△ 1,000	5. 運営費支出	1, 251, 739, 000	1, 214, 384, 378	37, 354, 622
6. 付随事業収入	468, 740, 000	441, 185, 510	27, 554, 490	6. 一般施設等借入金 6. 元利返済金支出	302, 823, 000	308, 105, 038	△ 5, 282, 038
7. 受取利息·配当金収入	1, 425, 757, 000	1, 637, 257, 844	△ 211, 500, 844	7. 施設設備整備費支出	22, 780, 099, 000	21, 709, 718, 501	1, 070, 380, 499
8. 雑収入	660, 785, 000	726, 810, 520	△ 66, 025, 520	8. 引当金·積立金支出	3, 720, 688, 000	3, 716, 687, 297	4, 000, 703
9. 借入金等収入	17, 000, 000, 000	17, 000, 000, 000	0	9. 予備費	(225, 653, 910) 320, 000, 000		320, 000, 000
10. その他の収入	2, 435, 201, 000	1, 652, 231, 019	782, 969, 981	10. 次年度繰越収支差額	8, 425, 090, 000	9, 564, 294, 184	△1, 139, 204, 184
11. 前年度繰越収支差額	8, 894, 635, 000	8, 894, 635, 877	△ 877				
合 計	64, 816, 998, 000	63, 947, 432, 418	869, 565, 582	合 計	64, 816, 998, 000	63, 947, 432, 418	869, 565, 582

# 2 貸借対照表

# 貸借対照表<2025(令和7)年3月31日>

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	170, 957, 839, 678	150, 255, 181, 937	20, 702, 657, 741
有形固定資産	115, 222, 906, 375	96, 764, 936, 707	18, 457, 969, 668
土地 建物 構築物 教育研究用機器備品 管理用機器備品 図書 車両 建設仮勘定	17, 016, 326, 696 66, 928, 614, 263 5, 495, 313, 015 6, 178, 628, 090 312, 098, 123 14, 062, 552, 926 69, 811, 693 5, 159, 561, 569	17, 153, 258, 864 51, 807, 355, 825 4, 542, 414, 536 5, 047, 731, 348 167, 840, 842 13, 951, 507, 693 53, 956, 533 4, 040, 871, 066	
特定資産	55, 015, 631, 192	52, 704, 545, 482	2, 311, 085, 710
第3号基本金引当特定資産 減価償却引当特定資産 退職給与引当特定資産 その他の引当特定資産	595, 946, 218 45, 970, 141, 566 5, 823, 728, 795 2, 625, 814, 613	595, 946, 218 43, 696, 427, 563 5, 752, 886, 941 2, 659, 284, 760	$\begin{array}{c} 0 \\ 2, 273, 714, 003 \\ 70, 841, 854 \\ \triangle \qquad 33, 470, 147 \end{array}$
その他の固定資産	719, 302, 111	785, 699, 748	△ 66, 397, 637
電話加入権 教育研究用ソフトウェア 管理用ソフトウェア 有価証券 長期貸付金 出資金 保証金	17, 043, 043 0 2, 625, 700 19, 000, 000 394, 986, 368 240, 000, 000 45, 647, 000	17, 043, 043 2, 920, 320 7, 553, 640 19, 000, 000 456, 815, 171 236, 478, 000 45, 889, 574	
流動資産	17, 255, 781, 163	16, 490, 372, 581	765, 408, 582
現金預金 未収入金 短期貸付金 有価証券 前払金	16, 220, 112, 002 1, 003, 121, 575 1, 580, 400 0 30, 967, 186	15, 238, 743, 935 1, 126, 330, 196 3, 131, 000 100, 000, 000 22, 167, 450	$\begin{array}{ccc} & 981, 368, 067 \\ \triangle & 123, 208, 621 \\ \triangle & 1, 550, 600 \\ \triangle & 100, 000, 000 \\ & 8, 799, 736 \end{array}$
資産の部合計	188, 213, 620, 841	166, 745, 554, 518	21, 468, 066, 323

				(十二:11)
負 債 の 部				
科	目	本年度末	前年度末	増減
固定負債		27, 140, 855, 127	11, 559, 652, 233	15, 581, 202, 894
長期借入金 長期未払金 退職給与引当金		20, 482, 394, 000 838, 111, 448 5, 820, 349, 679	5, 054, 130, 000 681, 793, 438 5, 823, 728, 795	$\begin{array}{c} 15,428,264,000 \\ 156,318,010 \\ \triangle \qquad \qquad 3,379,116 \end{array}$
流動負債		8, 985, 282, 429	7, 537, 850, 432	1, 447, 431, 997
短期借入金 未払金 前受金 預り金		1, 571, 736, 000 379, 548, 070 4, 594, 839, 871 2, 439, 158, 488	238, 324, 000 426, 184, 568 4, 410, 449, 674 2, 462, 892, 190	$\begin{array}{c} 1,333,412,000 \\ \triangle & 46,636,498 \\ 184,390,197 \\ \triangle & 23,733,702 \end{array}$
負債の部合計		36, 126, 137, 556	19, 097, 502, 665	17, 028, 634, 891

純 資 産 の 部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	167, 068, 160, 094	162, 674, 266, 807	4, 393, 893, 287
第1号基本金 第3号基本金 第4号基本金	164, 108, 213, 876 595, 946, 218 2, 364, 000, 000	159, 866, 320, 589 595, 946, 218 2, 212, 000, 000	4, 241, 893, 287 0 152, 000, 000
繰越収支差額	△ 14, 980, 676, 809	△ 15, 026, 214, 954	45, 538, 145
翌年度繰越収支差額	△ 14, 980, 676, 809	△ 15, 026, 214, 954	45, 538, 145
純資産の部合計	152, 087, 483, 285	147, 648, 051, 853	4, 439, 431, 432
負債及び純資産の部合計	188, 213, 620, 841	166, 745, 554, 518	21, 468, 066, 323

#### 注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 引当金の計上基準

#### 徵収不能引当金

貸付金の徴収不能に備えるため、一般債権については徴収不能実績率等により、徴収不能懸念債権については個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

#### 退職給与引当金

①龍谷大学·龍谷大学短期大学部

退職金の支給に備えるため、期末要支給額8,899,433,621円の100%を基にして、公益財団法人私立大学退職金財団に対する掛金の累計額と交付金の累計額との繰入調整額を加減した金額を計上している。

②平安高等学校·中学校

退職金の支給に備えるため、期末要支給額719,681,440円の100%を基にして、京都府私学退職金財団からの交付金相当額を控除した金額の100%を計上している。

#### (2) その他の重要な会計方針

有価証券の評価基準及び評価方法は移動平均法に基づく原価法である。

外貨建資産・負債等の本邦通貨への換算基準は、取得時又は発生時の為替相場により円換算している。

預り金その他経過項目に係る収支の表示方法

預り金その他経過項目に係る収入と支出は相殺して表示している。

教育活動に付随する活動に係る収支の表示方法 補助活動に係る収支は総額で表示している。

#### 減価償却資産

#### ①減価償却の方法等

減価償却はソフトウェアを除き残存価額を取得価額の10%とする定額法で実施している。 会計年度の中途で取得した固定資産にかかる減価償却の計算は、翌会計年度から行っている

ただし、リース対象資産の減価償却は「リース取引に関する会計処理について(通知)」(20高私参第2号)により、 リース期間に合わせて行っている。

固定資産の耐用年数は学校法人委員会報告第28号および固定資産の使用状況等を勘案して本法人において自主的 に決定しており、主な耐用年数は以下のとおりである。

区 分	種 類	耐用年数
	鉄筋コンクリート造	60年
	ブロック造	50年
	木 造	30年
建物及び	その他建物	10年
付 帯 設 備	昇 降 機 設 備	17年
	冷暖房ボイラー設備	13年
	給排水衛生設備	15年
	電気設備	15年
構築物		30年
機器備品	教育研究備品	10年
1992 - 400 - VFH - CIC	事務備品	10年
車両		5年
ソフトウェア		5年

#### ②減価償却資産の計上基準

1個または1組の金額が20万円以上のものを減価償却資産として計上している。ただし、学生・教職員等が使用する机、椅子等は少額重要資産として金額の多寡に関わらず教育研究用機器備品・管理用機器備品に計上している。

2. 重要な会計方針の変更等

該当事項なし

3. 減価償却額の累計額の合計額

68, 251, 132, 008 円

4. 徴収不能引当金の合計額

2,521,000円

5. 担保に供されている資産の種類及び額

土地 1,424,233,622 円 建物 22,520,254,126 円

6. 翌会計年度以降の会計年度において基本金への組入れを行なうこととなる金額

20, 467, 664, 362 円

7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

# 8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項 (1) 有価証券の時価情報

D 総括表 (単位:円)_					
	当年月	当年度 (2025(令和7)年3月31日)			
	貸借対照表 計上額	時 価	差 額		
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	16, 088, 843, 156	16, 680, 177, 495	591, 334, 339		
(うち満期保有目的の債券)	(16, 088, 843, 156)	(16, 680, 177, 495)	(591, 334, 339)		
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	33, 090, 062, 556	30, 854, 216, 139	△ 2, 235, 846, 417		
(うち満期保有目的の債券)	(33, 090, 062, 556)	(30, 854, 216, 139)	(\triangle 2, 235, 846, 417)		
合 計	49, 178, 905, 712	47, 534, 393, 634	△ 1,644,512,078		
(うち満期保有目的の債券)	(49, 178, 905, 712)	(47, 534, 393, 634)	(△ 1,644,512,078)		
時価のない有価証券	1, 314, 000, 000				
有価証券合計	50, 492, 905, 712				

② 明細表 (単位:円)			
	当年度 (2025(令和7)年3月31日)		1日)
	貸借対照表 計上額	時 価	差 額
債券	39, 683, 590, 556	37, 715, 736, 129	△ 1,967,854,427
株式	0	0	0
投資信託	0	0	0
金銭信託	9, 495, 315, 156	9, 818, 657, 505	323, 342, 349
貸付信託	0	0	0
その他	0	0	0
合 計	49, 178, 905, 712	47, 534, 393, 634	△ 1,644,512,078
時価のない有価証券	1, 314, 000, 000	-	
有価証券合計	50, 492, 905, 712		

### (2) デリバティブ取引

該当事項なし

(3) 学校法人の出資による会社に係る事項 当学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社の状況は、次のとおりである。

名称	<b>直谷メルシー株式会社</b>				
事業内容	清掃、警備、設備管理、保 大学管理運営業務 ・食品、清涼飲料水等の販売 損害保険代理業及び生命保 設備・機器・備品、物品(	及び販売管理業務 険の募集に関する業		など	
資本金	9,000,000円 1	8,000株			
	で成25年2月14日9,000,000円18,000株総出資金額に占める割合100%				
当期中に学校法人が受け入れた配当及 び寄付の金額並びに学校法人との資 金、取引等の状況		特別寄付金 光熟水費 学生施設利用料 雑収入他 委託手数料他		(単位:円) 05,000,000 4,937,795 58,610,669 21,626,369 97,488,106	
			(単位:円)		
当該会社への出資金等 当該会社への貸付金 当該会社への未払金 当該会社への立替金 当該会社からの借入金 当該会社からの未収入金 当該会社からの前受金	期首残高     資金支出等       9,000,000     0       0     0       56,405,519     56,405,519       0     0       0     0       57,304,050     49,948,940       0     0	資金収入等 0 51,656,865 0 0 57,304,050	0		

(4) 主な外貨建資産・負債 (単位:円)

科目	外貨額	貸借対照表 計上額	年度末日の為替相場 による円換算額	為替差額
流動資産 (普通預金)	米ドル 22,680,766.	3, 101, 018, 859	3, 391, 228, 201	290, 209, 342

(5) 偶発債務 該当事項なし

(6) 所有権移転外ファイナンス・リース取引 通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行なっている所有権移転外ファイナンス・リース取引

②平成21年3月31日以前に開始したリース取引

該当事項なし

(7) 純額で表示した補助活動に係る収支

該当事項なし

(8) 関連当事者との取引

該当事項なし

(9)後発事象

該当事項なし

(10) 学校法人間の財務取引

該当事項なし

# 3 資金収支計算書

# 資金収支計算書<2024(令和6)年4月1日~2025(令和7)年3月31日>

学生生化等納付金収入 26,836,637,000 26,330,647,036 13,009,964 投資料収入 人学全収入 2,087,805,000 2,088,338,000 公 589,000 分学全収入 2,087,805,000 177,000 667,839,300 公 7751,201,000 791,355,000 7770,000 667,839,300 公 776,000 777,000 677,500 677,500 777,000 677,500 777,000 777,	収入の部			(単位:円)
学生生作等納付金収入		予	決	差 異
接養神収入				
大学を収入     安藤安著科収入     安藤安著科収入     安藤安著科収入     安藤安著科収入     おおおいた。     安藤安著科収入     おおおいた。     安藤安著科収入     おおおいた。     安藤安藤子根収入     大学を検わる。     大学を大学がある。     大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大学を大			1	1 '
実験芸習料収入			1	
審学者書料収入		1 1 1		1
		1 1	1	
	施設設備資金収入		1	△ 17,549,500
大学科学性収入 7,649,000 8,105,000 1,000,000 1,000,000 1,000,000 1,000,000	その他の学生納付金収入	115, 927, 000	118, 389, 120	△ 2, 462, 120
大学入学生油テスト等実施手数料収入 7,649,000 8,153,000 △ 993,350 △ 993,350 ○ 公 1,906,000 名 1,906,000 ○ 1,				
大学科収入				
高研手数种収入				
特別客付金収入 340,085,000 1,353,000 1,557,000 1,55		1	1	1
特別客付金収入 340,085,000 1,353,000 1,557,000 1,55	寄付金収入	343, 095, 000	320, 046, 995	23, 048, 005
補助金収入			1	
国庫補助金収入	一般寄付金収入	3, 010, 000	1, 353, 000	1, 657, 000
地方公共団体補助金収入				
土地売却収入	地方公共団体補助金収入	664, 808, 000	645, 224, 979	19, 583, 021
注映売垣収入	2 1 - 2 - 1 - 2 · 2 · 2 · 2 · 2 · 2 · 2 · 2 · 2 · 2			
有価証券売却収入 100,000,000 100,000,000 100,000,000 100,000,0			1 ' '	
補助活動収入		1 1		
補助活動収入	付随事業・収益事業収入	468, 740, 000	441, 185, 510	27, 554, 490
受託事業収入 REC収入 能谷ミュージアム収入 25,052,000 27,383,341 108,659 産業の人 第3号基本金引当特定資産運用収入 その他の受取利息・配当金収入 1,396,680,000 1,637,257,844 400,314 を収入 施設設備利用料収入 61,554,000 40,208,203 40,415,501,158 を収入 660,785,000 409,208,203 40,415,502,520 京都府私学退職金財団交付金収入 5,809,000 6,358,056 40,056,203 市町財産収入 11,33,000 11,25,611 40 24,091,808 (番入金等収入 17,000,000,000 17,000,000,000 17,000,000,000 17,000,000,000 17,000,000,000 17,000,000,000 17,000,000,000 17,000,000,000 17,000,000,000 17,000,000,000 17,000,000,000 17,000,000,000 17,000,000,000 11,862,651,600 40,355,000 40,365,00			1	1
離谷ミュージアム収入	受託事業収入	265, 334, 000	241, 594, 031	23, 739, 969
受取利息・配当金収入	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *		1	
第3号基本金引当特定資産運用収入	龍谷ミュージアム収入	25, 052, 000	28, 945, 157	△ 3, 893, 157
#収入の部合計 1,396,680,000 1,612,181,158 △ 215,501,158 # 収入 660,785,000 61,554,000 58,430,742 3,123,258 # 検収入 660,785,000 61,554,000 58,430,742 3,123,258				
離収入 660,785,000 726,810,520 △ 66,025,520 施設設備利用料収入 61,554,000 58,430,742 3,123,258 43立大学退職金財団交付金収入 83,980,000 83,980,100 △ 10,000 6,358,056 △ 549,056 → 549,056 △ 549,056 △ 549,056 △ 549,056 → 549,056 △ 549,056 → 5			1	
施設設備利用料収入	ての他の支取利心・配目並収入	1, 390, 000, 000	1, 012, 101, 100	215, 501, 156
和立大学退職金財団交付金収入 第3,980,000 83,980,100 5,899,000 63,580,56 △ 549,056 → 549,056 △ 549,0			1	1
京都府私学退職金財団交付金収入 5,809,000 6,358,056 △ 549,056 △ 540,058,000 000 17,000,000,000 17,000,000 17,000,000,000 17,000,000,000 17,000,000,000 17,000,000 0 17,000,000,000 17,000,000 0 17,000,000,000 17,000,000 0 17,000,000,000 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 17,000,000 0 0 17,000,000 0 17,000,000 0 0 17,000,000 0 17,00			1	8
印刷物売上収入			1	1
知的財産収入			1	1
世入金等収入		1 1	1 ' '	
長期借入金収入	その他の雑収入		167, 707, 808	
前受金収入 授業料前受金収入 入学金前受金収入 以等金前受金収入 国学実習料前受金収入 をの他の前受金収入 表が価償却引当特定資産取崩収入 をの他の引当特定資産取崩収入 をの他の引当特定資産取崩収入 をの他の引きを収入 関付金回収収入 保証金返還収入 出資金返還収入 出資金返還収入 出資金返還収入 出資金返還収入 のののの計算を登収入 に対するを収入 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの		17, 000, 000, 000	17, 000, 000, 000	0
授業料前受金収入 入学金前受金収入 実験実習料前受金収入 留学実習料前受金収入 をの他の前受金収入 その他の可以入 減価償却引当特定資産取崩収入 前期末未収入金収入 保証金返還収入 出資金返還収入 日資金収入 日前要を返収入 (日間を) (日間を) (日間を	長期借入金収入	17, 000, 000, 000	17, 000, 000, 000	0
入学金前受金収入 実験実習料前受金収入 協設設備資金前受金収入 たの他の前受金収入 その他の前受金収入 その他の引当特定資産取崩収入 前期末未収入金収入 資金収入 資金収入 資金収入 資金収入 資金収入 資金収入 資金収入		6	1	
実験実習料前受金収入 留学実習料前受金収入 施設設備資金前受金収入 その他の前受金収入 その他の可受金収入 その他の引当特定資産取崩収入 その他の引当特定資産取崩収入 行付金回収収入 保証金返還収入 出資金返還収入 日資金収入 日資金収入 日前期末未収入金 日前期末前受金 日本収入 日資金収入 日資金収入 日本収入 日本収入 日本収入 日本収入 日本収入 日本収入 日本収入 日本			1	
留学実習料前受金収入 施設設備資金前受金収入 その他の前受金収入 その他の収入 減価償却引当特定資産取崩収入 その他の引当特定資産取崩収入 育付金回収収入 保証金返還収入 出資金返還収入 出資金返還収入 出資金を透し収入 の 有・取主未収入金 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の				
施設設備資金前受金収入 その他の前受金収入 その他の可以入 減価償却引当特定資産取崩収入 その他の引当特定資産取崩収入 での他の引当特定資産取崩収入 行力を収入 をの他の引当特定資産取崩収入 での他の引当特定資産取崩収入 での他の引当特定資産取崩収入 での他の引当特定資産取崩収入 での世の引当特定資産取崩収入 での関する収入 での世の可以入 での関するでは、 でのより、 でのよりにより、 でのより、 でいるより、 でのより、 でいるより、 でのより、 でのより、 でのより、 でのより、 でいるより、				1
その他の前受金収入			1	
減価償却引当特定資産取崩収入 その他の引当特定資産取崩収入 前期末未収入金収入 貸付金回収収入 保証金返還収入 出資金返還収入 出資金返還収入 一方の 一方の 一方の 一方の 一方の 一方の 一方の 一方の		24, 330, 000	1	
その他の引当特定資産取崩収入 前期末未収入金収入 貸付金回収収入 保証金返還収入 出資金返還収入 開末未収入金 開末未収入金 前期末前受金 本 4,410,450,000 本 4,410,450,000 本 209,379,580 1,126,330,196 ○ 1,126,330,196 ○ 1,127,574 ○ 3,478,000 ○ 3,478,000 ○ 3,478,000 ○ 4,410,449,674 ○ 15,238,743,935 ○ 195,060,294		3, 561, 531, 000	2, 778, 561, 215	782, 969, 785
前期末未収入金収入 貸付金回収収入 保証金返還収入 出資金返還収入 当業本収入金 前期末前受金 (文) (2) (4) (4) (4) (49) (674 (大) (3) (4) (4) (49) (674 (大) (3) (4) (4) (4) (49) (674 (大) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (674 (大) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4				
貸付金回収収入 保証金返還収入 出資金返還収入 当業収入 開末未収入金 前期末前受金 (取入の部合計 (2, 619, 868 1, 821, 000 1, 127, 574 0 (3, 478, 000 (4, 110, 449, 674 (603, 072, 751 (603, 072, 425 (603, 072, 425 (				1 .
保証金返還収入 出資金返還収入 資金収入調整勘定 期末未収入金 前期末前受金 前年度繰越支払資金 収入の部合計 1,821,000 1,127,574 693,426 603,072,751 △ 6,016,644,000 △ 1,003,121,575 △ 4,410,450,000 △ 4,410,449,674 ○ 15,238,743,905 ○ 15,238,743,905 ○ 70,504,079,000 ○ 70,699,139,294 △ 195,060,294				1
田資金返還収入			1	1
期末未収入金 前期末前受金     △ 1,606,194,000 △ 4,410,450,000     △ 1,003,121,575 △ 4,410,449,674     △ 603,072,425 △ 4,410,449,674       前年度繰越支払資金     15,238,743,000     15,238,743,935     △ 935       収入の部合計     70,504,079,000     70,699,139,294     △ 195,060,294				1 .
前期末前受金	資金収入調整勘定	△ 6,016,644,000	△ 5, 413, 571, 249	△ 603, 072, 751
前年度繰越支払資金 15,238,743,000 15,238,743,935 △ 935 収入の部合計 70,504,079,000 70,699,139,294 △ 195,060,294				
収入の部合計 70,504,079,000 70,699,139,294 △ 195,060,294	前期末前受金	△ 4, 410, 450, 000	△ 4, 410, 449, 674	△ 326
		15, 238, 743, 000	15, 238, 743, 935	△ 935
	収入の部合計			△ 195, 060, 294

※ RECとは龍谷エクステンションセンター (Ryukoku Extension Center)の略である。

支出の部			(単位:円)
科目	予 算	決 算	差 異
人件費支出 教員人件費支出 職員人件費支出 役員報酬支出 退職金支出	16, 617, 075, 734 10, 558, 162, 000 5, 232, 206, 000 5, 092, 000 821, 615, 734	16, 537, 274, 705 10, 529, 836, 845 5, 180, 975, 735 4, 846, 391 821, 615, 734	79, 801, 029 28, 325, 155 51, 230, 265 245, 609
教育	10, 502, 386, 266 917, 273, 772 807, 710, 000 170, 461, 000 146, 500, 000 382, 983, 000 685, 321, 000 22, 354, 650 2, 151, 568, 000 237, 788, 000 137, 750, 000 98, 809, 000 25, 347, 000 168, 307, 000 268, 702, 000 17, 693, 000 48, 401, 000 357, 684, 844	9, 905, 754, 101 917, 273, 772 800, 363, 836 152, 129, 660 141, 057, 948 330, 525, 357 394, 723, 798 3, 736, 059, 597 22, 354, 650 2, 062, 313, 106 229, 126, 894 128, 716, 734 97, 052, 207 24, 400, 912 155, 618, 276 257, 724, 737 14, 477, 379 44, 750, 987 397, 084, 251	$\begin{array}{c} 596, 632, 165 \\ 0 \\ 7, 346, 164 \\ 18, 331, 340 \\ 5, 442, 052 \\ 52, 457, 643 \\ 290, 597, 202 \\ 121, 673, 403 \\ 0 \\ 89, 254, 894 \\ 8, 661, 106 \\ 9, 033, 266 \\ 1, 756, 793 \\ 946, 088 \\ 12, 688, 724 \\ 10, 977, 263 \\ 3, 215, 621 \\ 3, 650, 013 \\ \triangle \\ 39, 399, 407 \end{array}$
管理経済が出り、	2, 130, 334, 000 19, 572, 000 60, 787, 000 102, 335, 000 47, 006, 000 36, 568, 000 39, 956, 000 1, 356, 407, 000 1, 331, 000 9, 648, 000 35, 241, 000 226, 713, 000 49, 997, 000 11, 000, 000 11, 411, 000 44, 998, 000 959, 000 1, 400, 000 26, 866, 000 29, 670, 000	2, 133, 420, 588 30, 820, 628 19, 924, 462 96, 252, 673 50, 612, 730 32, 581, 357 61, 532, 538 1, 345, 917, 545 1, 340, 377 8, 030, 057 34, 973, 388 213, 472, 509 47, 602, 376 10, 316, 113 12, 263, 184 36, 435, 033 18, 309, 824 959, 000 1, 400, 000 26, 866, 000 83, 810, 794	
借入金等利息支出 借入金利息支出	64, 499, 000 64, 499, 000	69, 781, 038 69, 781, 038	△ 5, 282, 038 △ 5, 282, 038
借入金等返済支出 借入金返済支出 施設関係支出 建物支出 構築物支出 建設仮勘定支出	238, 324, 000 238, 324, 000 21, 539, 773, 000 16, 714, 160, 000 194, 064, 000 4, 631, 549, 000	238, 324, 000 238, 324, 000 19, 699, 750, 331 14, 500, 157, 680 1, 210, 350, 494 3, 989, 242, 157	0 0 1,840,022,669 2,214,002,320 △ 1,016,286,494 642,306,843
設備関係支出 教育研究用機器備品支出 管理用機器備品支出 図書支出 車両支出	1, 235, 206, 000 1, 003, 611, 000 46, 151, 000 155, 876, 000 29, 568, 000	2, 066, 926, 116 1, 767, 658, 242 161, 855, 388 107, 844, 486 29, 568, 000	
資産運用支出 減価償却引当特定資産繰入支出 退職給与引当特定資産繰入支出 その他の引当特定資産繰入支出 出資金支出	3, 825, 430, 000 3, 626, 424, 000 70, 843, 000 121, 163, 000 7, 000, 000	3, 880, 175, 287 3, 626, 424, 000 70, 841, 854 175, 909, 433 7, 000, 000	
その他の支出 貸付金支払支出 前期末未払金支払支出 預り金支払支出 前払金支払支出 保証金支払支出	613, 485, 000 158, 925, 000 426, 191, 000 0 28, 369, 000	505, 654, 656 23, 884, 200 426, 184, 568 23, 733, 702 30, 967, 186 885, 000	$\begin{array}{c} 107,830,344\\ 135,040,800\\ 6,432\\ \triangle & 23,733,702\\ \triangle & 2,598,186\\ \triangle & 885,000\\ \end{array}$

			(十匹・11)
支出の部	_		
科目	予 算	決 算	差 異
【予 備 費】	(320, 000, 000)	/	0
資金支出調整勘定 期末未払金 前期末前払金		$ \begin{array}{c cccc} \triangle & 558,033,530 \\ \triangle & 535,866,080 \\ \triangle & 22,167,450 \\ \end{array} $	$\begin{array}{c} 233,466,530 \\ 233,467,080 \\ \triangle & 550 \\ \end{array}$
翌年度繰越支払資金	14, 062, 133, 000	16, 220, 112, 002	$\triangle$ 2, 157, 979, 002
支出の部合計	70, 504, 079, 000	70, 699, 139, 294	△ 195, 060, 294

注記1 予備費の使用額は320,000,000円で、その振替科目および金額は次のとおりである。

人件費支出 退職金支出 111,916,734 円 教育研究経費支出 消耗品費支出 54,344,772 円 教育研究経費支出 損害保険料支出 83,650 円 教育研究経費支出 雑費支出 153,654,844 円

# 4 活動区分資金収支計算書

# 活動区分資金収支計算書<2024(令和6)年4月1日~2025(令和7)年3月31日>

		1) H	(中四:11)		
		科 目	金額		
		学生生徒等納付金収入	26, 350, 647, 036		
		手数料収入	1, 792, 794, 375		
		特別寄付金収入	316, 630, 995		
±/+		一般寄付金収入	1, 353, 000		
教育	入	経常費等補助金収入	4, 355, 199, 242		
活		付随事業収入	441, 185, 510		
動		雑収入	726, 810, 520		
によ					
る		教育活動資金収入計	33, 984, 620, 678		
資					
金収		人件費支出	16, 537, 274, 705		
支	支	教育研究経費支出	9, 905, 754, 101		
	出	管理経費支出	2, 133, 420, 588		
		教育活動資金支出計	28, 576, 449, 394		
		差引	5, 408, 171, 284		
		調整勘定等	152, 911, 002		
	教育	活動資金収支差額	5, 561, 082, 286		
		. 目	金額		
		施設設備寄付金収入	2, 063, 000		
+/		施設設備補助金収入	446, 624, 000		
施設	収	土地壳却収入	301, 700, 345		
整	入	施設設備売却収入	28, 299, 655		
備		減価償却引当特定資産取崩収入	1, 352, 709, 997		
等活					
動		施設整備等活動資金収入計	2, 131, 396, 997		
に					
よる		施設関係支出	19, 699, 750, 331		
資	支	設備関係支出	2, 066, 926, 116		
金	出	減価償却引当特定資産繰入支出	3, 626, 424, 000		
収支					
		施設整備等活動資金支出計	25, 393, 100, 447		
		差引	△ 23, 261, 703, 450		
		調整勘定等	255, 569, 592		
	施設	整備等活動資金収支差額	△ 23, 006, 133, 858		
	小	計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 17, 445, 051, 572		
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

		<b>到</b> 日	(単位:円)
	-	科	金額
	収入	借入金等収入 有価証券売却収入 その他の引当特定資産取崩収入 貸付金回収収入 保証金返還収入 出資金返還収入	17, 000, 000, 000 100, 000, 000 209, 379, 580 85, 535, 868 1, 127, 574 3, 478, 000
その他の		小計 受取利息・配当金収入 その他の活動資金収入計	17, 399, 521, 022 1, 637, 257, 844 19, 036, 778, 866
活動による資金収支	支出	借入金等返済支出 退職給与引当特定資産繰入支出 その他の引当特定資産繰入支出 出資金支出 預り金支払支出 貸付金支払支出 保証金支払支出 小計 借入金等利息支出 その他の活動資金支出計 差引	238, 324, 000 70, 841, 854 175, 909, 433 7, 000, 000 23, 733, 702 23, 884, 200 885, 000 540, 578, 189 69, 781, 038
	<u> </u>	差5] 調整勘定等	18, 426, 419, 639
	その	調整倒た寺 )他の活動資金収支差額	18, 426, 419, 639
		近の行動員並収入左照   払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	981, 368, 067
		了年度繰越支払資金	15, 238, 743, 935
		是年度繰越支払資金	16, 220, 112, 002

注記 活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。 (単位:						
	資金収支 計算書計上額	教育活動 による資金収支	施設整備等活動 による資金収支	その他の活動 による資金収支		
前受金収入	4, 594, 839, 871	4, 594, 839, 871	0	0		
前期末未収入金収入	1, 126, 330, 196	636, 434, 196	489, 896, 000	0		
期末未収入金	$\triangle$ 1, 003, 121, 575	$\triangle$ 614, 162, 575	△ 388, 959, 000	0		
前期末前受金	$\triangle$ 4, 410, 449, 674	△ 4, 410, 449, 674	0	0		
収入計	307, 598, 818	206, 661, 818	100, 937, 000	0		
前期末未払金支払支出	426, 184, 568	274, 871, 960	151, 312, 608	0		
前払金支払支出	30, 967, 186	30, 967, 186	0	0		
期末未払金	△ 535, 866, 080	$\triangle$ 229, 920, 880	$\triangle$ 305, 945, 200	0		
前期末前払金	$\triangle$ 22, 167, 450	$\triangle$ 22, 167, 450	0	0		
支出計	△ 100, 881, 776	53, 750, 816	$\triangle$ 154, 632, 592	0		
収入計-支出計	408, 480, 594	152, 911, 002	255, 569, 592	0		

### 5 事業活動収支計算書

### 事業活動収支計算書<2024(令和6)年4月1日~2025(令和7)年3月31日>

(単位:円)

算 科 目 予 決 算 差 異 学生生徒等納付金 26, 363, 657, 000 26, 350, 647, 036 13, 009, 964 授業料 18, 591, 260, 000 18, 559, 561, 510 31, 698, 490 2,088,385,000 入学金 2,087,805,000 580,000 Λ 実験実習料 751, 201, 000 750, 067, 906 1, 133, 094 770,000 91, 355, 000 留学実習料 92, 125, 000 施設設備資金 4, 725, 339, 000 4, 742, 888, 500 Δ 17, 549, 500 その他の学生納付金 115, 927, 000 118, 389, 120 2, 462, 120 251, 523, 375 1, 792, 794, 375 手数料 1,541,271,000 Λ 入学検定料 1,775,881,025 252, 935, 025 1,522,946,000 Δ 大学入学共通テスト等実施手数料 7,649,000 8,048,350 Δ 399, 350 試験料 718,000 813,000  $\triangle$ 95,000 証明手数料 9, 958, 000 8,052,000 1,906,000 寄付金 347, 584, 000 320, 981, 008 26, 602, 992 事 23, 254, 005 特別寄付金 316, 630, 995 339, 885, 000 業 1, 353, 000 一般寄付金 3,010,000 1,657,000 活 現物寄付 4,689,000 2, 997, 013 1,691,987 動 収 経常費等補助金 4, 317, 183, 000 4, 355, 199, 242 38, 016, 242 入 国庫補助金 3, 652, 375, 000 3, 758, 640, 263 106, 265, 263 Δ 0 地方公共団体補助金 664, 808, 000 596, 558, 979 68, 249, 021 部 付随事業収入 468,740,000441, 185, 510 27, 554, 490 補助活動収入 150,862,000 143, 262, 981 7, 599, 019 受託事業収入 265, 334, 000 241, 594, 031 23, 739, 969 27, 383, 341 REC収入 27, 492, 000 108,659 龍谷ミュージアム収入 25, 052, 000 28, 945, 157 Δ 3, 893, 157 727, 719, 495 雑収入 660, 785, 000 66, 934, 495 施設設備利用料 61, 554, 000 58, 430, 742 3, 123, 258 教 私立大学退職金財団交付金 364, 703, 000 409, 208, 203  $\triangle$ 44, 505, 203 育活動収 83, 980, 100 京都府私学退職金財団交付金 83, 980, 000  $\triangle$ 100 5,809,000 6, 358, 056 549,056 印刷物壳上収入 Δ 1, 123, 000 1, 125, 611 知的財産収入  $\triangle$ 2,611 24, 091, 808 その他の雑収入 143, 616, 000 167, 707, 808 支

			3			908, 975	Δ	908, 975
	教育活動収入計		33, 69	9, 220, 000	33, 98	8, 526, 666	Δ	289, 306, 666
	科	Ħ	予	算	決	算	差	異
事業活動支出の部	人 件 費 教職役退 研消光印通旅修業損獎教学福広支賃会諸減雑 性件翻 員員員職 完耗熱刷信費繕務害学育生利告払借合会価費 人人翻与 費費費本搬通 上 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大		10, 55 5, 23 81 13, 45 92 80 17 14 38 68 3, 85 2 2, 15 23 13 9 2 16 26 1 4 2, 95	3, 696, 618 8, 162, 000 2, 206, 000 5, 092, 000 8, 236, 618 2, 094, 382 0, 346, 785 7, 710, 000 0, 461, 000 6, 500, 000 2, 354, 650 1, 568, 000 7, 733, 000 2, 354, 650 1, 568, 000 7, 750, 000 8, 809, 000 5, 347, 000 8, 702, 000 7, 693, 000 8, 401, 000 6, 483, 000 7, 836, 947	10, 52: 5, 18i 81: 12, 86: 92: 80i 15: 14 33: 39: 3, 73: 2: 2, 06: 22: 15: 25: 1- 4 2, 95:	3, 895, 589 9, 836, 845 0, 975, 735 4, 846, 391 8, 236, 618 2, 005, 858 0, 346, 785 0, 363, 836 2, 129, 660 1, 057, 948 6, 059, 597 2, 354, 650 2, 131, 106 9, 126, 894 8, 716, 734 7, 052, 207 4, 400, 912 5, 618, 276 7, 724, 737 4, 477, 379 4, 477, 379 4, 750, 987 3, 178, 744 7, 084, 251	Δ	79, 801, 029 28, 325, 155 51, 230, 265 245, 609 0  590, 088, 524 0 7, 346, 164 18, 331, 340 5, 442, 052 52, 457, 643 290, 597, 202 121, 673, 403 0 89, 254, 894 8, 661, 106 9, 033, 266 1, 756, 793 946, 088 12, 688, 724 10, 977, 263 3, 215, 621 3, 650, 013 3, 304, 256 49, 247, 304

					(単位:円)
	科目	予  算	決算	差	異
	管理経費	2, 229, 947, 000	2, 233, 330, 752		3, 383, 752
	消耗品費	19, 572, 000	30, 820, 628	$\triangle$	11, 248, 628
	光熱水費	60, 787, 000	19, 924, 462		40, 862, 538
	印刷製本費	102, 335, 000	96, 252, 673		6,082,327
	通信運搬費	47, 006, 000	50, 612, 730	$\triangle$	3,606,730
	旅費交通費	36, 568, 000	32, 581, 357		3, 986, 643
	修繕費	39, 956, 000	61, 532, 538		21, 576, 538
	業務委託費	1, 356, 407, 000	1, 345, 917, 545		10, 489, 455
事	損害保険料	1, 331, 000	1, 340, 377		9, 377
業	補助費	9, 648, 000	8, 030, 057		1, 617, 943
教活	福利費	35, 241, 000	34, 973, 388		267, 612
育動	広告費	226, 713, 000	213, 472, 509		13, 240, 491
活支	支払手数料・報酬	49, 997, 000	47, 602, 376		2, 394, 624
動出	賃借料	11,000,000	10, 316, 113	,	683, 887
収の	会合交際費	11, 411, 000	12, 263, 184		852, 184
支部	公租公課	44, 998, 000	36, 435, 033		8, 562, 967
	<b>珀云</b> 頁	18, 469, 000	18, 309, 824		159, 176
	私立大学等経常費補助金返還金 授業料等減免費交付金返還金	959, 000 1, 400, 000	959, 000 1, 400, 000		0
	で 表科寺	26, 866, 000	26, 866, 000		0
	減価償却額	99, 613, 000	99, 910, 164	Δ	297, 164
	(M)	29, 670, 000	83, 810, 794		54, 140, 794
	<b>杜</b>	29, 070, 000	03, 010, 794		54, 140, 794
	<b> </b>	116,000	2, 636, 710		2,520,710
	<b>                                     </b>	0	2, 521, 000		2, 521, 000
	徴収不能額	116,000	115, 710		290
	J. 17. 1 12.20.	,	,		
	教育活動支出計	32, 295, 854, 000	31, 631, 868, 909		663, 985, 091
	教育活動収支差額	1, 403, 366, 000	2, 356, 657, 757		953, 291, 757
	科目	予 算	決 算	差	異
事		, ,,	2,		
業活	受取利息・配当金	1, 425, 757, 000	1, 637, 257, 844	Δ	211, 500, 844
動	第3号基本金引当特定資産運用収入	29, 077, 000	25, 076, 686		4, 000, 314
収	その他の受取利息・配当金	1, 396, 680, 000	1, 612, 181, 158		215, 501, 158
] 入	とり他の文状物心 出当並	1, 550, 660, 600	1,012,101,100		210, 001, 100
教しの	その他の教育活動外収入	0	0		0
育」如		v	Ĭ.		V
活	教育活動外収入計	1, 425, 757, 000	1,637,257,844	Δ	211, 500, 844
動事	科目	予 算	決 算	差	異
外収業					
支活	借入金等利息	64, 499, 000	69, 781, 038	Δ	5, 282, 038
動	情八金等利息 借入金利息	64, 499, 000	69, 781, 038	Δ	5, 282, 038
支	田八平小小	04, 455, 000	03, 101, 030		0, 202, 030
出	その他の教育活動外支出	0	0	000000000000000000000000000000000000000	0
の	C ショ西シスタ 月 1日 約7丁 入 田	U	l ·		U
部	教育活動外支出計	64, 499, 000	69, 781, 038		5, 282, 038
"	教育活動外収支差額	1, 361, 258, 000	1, 567, 476, 806	Δ	206, 218, 806
				-	
	経常収支差額	2, 764, 624, 000	3, 924, 134, 563		1, 159, 510, 563

(畄位・田)

						(単位:円)
		科目	予 算	決 算	差	異
	事業活動収入の部	資産売却差額 土地売却差額 建物売却差額 その他の特別収入 施設設備寄付金 現物寄付 施設設備補助金	165, 188, 000 164, 768, 000 420, 000 1, 120, 721, 000 200, 000 83, 846, 000 1, 036, 675, 000	164, 768, 177 164, 768, 177 0 568, 303, 694 2, 063, 000 119, 616, 694 446, 624, 000		419, 823 177 420, 000 552, 417, 306 1, 863, 000 35, 770, 694 590, 051, 000
特別		特別収入計	1, 285, 909, 000	733, 071, 871		552, 837, 129
別収		科目	予算	決 算	差	異
支	事業活動支出の部	資産処分差額 建物処分差額 構築物処分差額 教育研究用機器備品処分差額 管理用機器備品処分差額 図書処分差額	159, 403, 000 91, 967, 000 8, 457, 000 52, 799, 000 169, 000 6, 011, 000	217, 775, 002 105, 112, 466 15, 450, 752 90, 546, 979 877, 796 5, 787, 009		58, 372, 002 13, 145, 466 6, 993, 752 37, 747, 979 708, 796 223, 991
						-
		特別支出計	159, 403, 000	217, 775, 002		58, 372, 002
		特別収支差額	1, 126, 506, 000	515, 296, 869		611, 209, 131
[	予備	費〕	(320, 000, 000)	000000000000000000000000000000000000000		
			0	/		0
基	本金	組入前当年度収支差額	3, 891, 130, 000	4, 439, 431, 432		548, 301, 432
基	本金	組入額合計	△ 3, 254, 469, 000	△ 4, 393, 893, 287		1, 139, 424, 287
当	年度	収支差額	636, 661, 000	45, 538, 145		591, 122, 855
前	年度	繰越収支差額	△ 15, 026, 214, 000	△ 15, 026, 214, 954		954
基本金取崩額		取崩額	0	0		0
꿮	年度	繰越収支差額	△ 14, 389, 553, 000	△ 14, 980, 676, 809		591, 123, 809
( =	参考)	)				
事	業活	動収入計	36, 410, 886, 000	36, 358, 856, 381		52, 029, 619
事	業活	動支出計	32, 519, 756, 000	31, 919, 424, 949		600, 331, 051

注記1予備費の使用額は320,000,000円で、その振替科目および金額は次のとおりである。

人件費	退職給与引当金繰入額	123, 380, 618	円
教育研究経費	消耗品費	52, 728, 785	円
教育研究経費	損害保険料	83,650	円
教育研究経費	雑費	143, 806, 947	円

# 6 各計算書の経年推移

#### ①貸借対照表関係

ア)貸借対照表の状況と経年比較

(単位:円)

	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
固定資産	170, 957, 839, 678	150, 255, 181, 937	145, 101, 362, 053	140, 086, 789, 598	138, 219, 468, 527
流動資産	17, 255, 781, 163	16, 490, 372, 581	17, 824, 854, 259	20, 541, 327, 680	18, 421, 818, 645
資産の部合計	188, 213, 620, 841	166, 745, 554, 518	162, 926, 216, 312	160, 628, 117, 278	156, 641, 287, 172
固定負債	27, 140, 855, 127	11, 559, 652, 233	8, 428, 614, 131	8, 571, 043, 186	8, 383, 979, 597
流動負債	8, 985, 282, 429	7, 537, 850, 432	7, 476, 590, 289	7, 344, 655, 689	7, 136, 213, 860
負債の部合計	36, 126, 137, 556	19, 097, 502, 665	15, 905, 204, 420	15, 915, 698, 875	15, 520, 193, 457
基本金	167, 068, 160, 094	162, 674, 266, 807	159, 312, 330, 366	158, 464, 600, 440	156, 998, 927, 789
繰越収支差額	△14, 980, 676, 809	△15, 026, 214, 954	△12, 291, 318, 474	△13, 752, 182, 037	△15, 877, 834, 074
純資産の部合計	152, 087, 483, 285	147, 648, 051, 853	147, 021, 011, 892	144, 712, 418, 403	141, 121, 093, 715
負債及び純資産の部合計	188, 213, 620, 841	166, 745, 554, 518	162, 926, 216, 312	160, 628, 117, 278	156, 641, 287, 172

#### イ)財務比率の経年比較

	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
運用資産余裕比率 (単位:年)	1.5	1.9	2. 2	2. 1	2.0
流動比率	192.0%	218.8%	238. 4%	279.7%	258. 1%
総負債比率	19. 2%	11.5%	9.8%	10.0%	9.9%
前受金保有率	353.0%	345. 5%	360. 8%	415.5%	428.5%
基本金比率	90.5%	98.0%	99.8%	98.3%	98.4%
積立率	95.4%	94.0%	93. 5%	89.5%	88.1%

### ※各比率の算出方法および評価について

	算出方法	評価
運用資産余裕比率(単位:年)	(運用資産-外部負債) /経常支出	高いほど望ましい
流動比率	流動資産/流動負債	高いほど望ましい
総負債比率	総負債/総資産	低いほど望ましい
前受金保有率	現金預金/前受金	高いほど望ましい
基本金比率	基本金/基本金要組入額	高いほど望ましい
積立率	運用資産/要積立額	高いほど望ましい

### ②資金収支計算書関係

ア)資金収支計算書の状況と経年比較

(単位:円)

収入の部	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
学生生徒等納付金収入	26, 350, 647, 036	25, 665, 430, 401	25, 051, 771, 100	24, 540, 817, 780	24, 247, 923, 220
手数料収入	1, 792, 794, 375	1, 688, 950, 140	1, 686, 406, 874	1, 536, 048, 447	1, 612, 970, 548
寄付金収入	320, 046, 995	355, 857, 873	441, 132, 199	472, 789, 268	547, 267, 727
補助金収入	4, 801, 823, 242	4, 702, 692, 506	4, 119, 249, 108	4, 265, 272, 615	3, 622, 589, 440
資産売却収入	430, 000, 000	1,000,000,000	1, 400, 000, 000	0	18, 000, 000
付随事業・収益事業収入	441, 185, 510	374, 544, 721	411, 516, 706	540, 229, 699	350, 359, 517
受取利息・配当金収入	1, 637, 257, 844	1, 140, 468, 923	689, 947, 973	745, 538, 844	507, 003, 254
雑収入	726, 810, 520	760, 166, 125	538, 332, 524	605, 975, 510	407, 914, 027
借入金等収入	17, 000, 000, 000	3, 000, 000, 000	0	0	0
前受金収入	4, 594, 839, 871	4, 410, 449, 674	4, 474, 972, 733	4, 418, 493, 855	4, 194, 523, 199
その他の収入	2, 778, 561, 215	4, 917, 073, 782	1, 409, 132, 500	1, 394, 115, 131	35, 975, 132, 684
資金収入調整勘定	△5, 413, 571, 249	△5, 601, 302, 929	△5, 037, 617, 795	△4, 895, 251, 293	△4,511,461,418
前年度繰越支払資金	15, 238, 743, 935	16, 137, 891, 932	18, 359, 472, 986	17, 973, 070, 556	17, 204, 390, 912
収入の部合計	70, 699, 139, 294	58, 552, 223, 148	53, 544, 316, 908	51, 597, 100, 412	84, 176, 613, 110
				•	
支出の部	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
人件費支出	16, 537, 274, 705	16, 347, 954, 303	15, 635, 930, 520	15, 695, 842, 244	15, 282, 624, 381
教育研究経費支出	9, 905, 754, 101	10, 738, 844, 662	9, 611, 143, 260	8, 573, 771, 049	9, 394, 812, 993
管理経費支出	2, 133, 420, 588	2, 079, 909, 621	1, 758, 830, 370	1, 710, 270, 994	1, 733, 929, 359
借入金等利息支出	69, 781, 038	12, 649, 748	12, 014, 889	13, 087, 525	15, 983, 647
借入金等返済支出	238, 324, 000	262, 324, 000	262, 824, 000	266, 824, 000	470, 224, 000
施設関係支出	19, 699, 750, 331	8, 931, 152, 787	2, 145, 602, 423	2, 011, 303, 670	973, 357, 350
設備関係支出	2, 066, 926, 116	750, 686, 290	547, 891, 018	706, 048, 602	698, 275, 130
資産運用支出	3, 880, 175, 287	4, 498, 492, 253	7, 346, 147, 420	4, 515, 922, 147	37, 598, 210, 898
その他の支出	505, 654, 656	434, 254, 115	465, 898, 206	461, 191, 996	320, 897, 381
資金支出調整勘定	△558, 033, 530	△742, 788, 566	△379, 857, 130	△716, 634, 801	△284, 772, 585
翌年度繰越支払資金	16, 220, 112, 002	15, 238, 743, 935	16, 137, 891, 932	18, 359, 472, 986	17, 973, 070, 556
支出の部合計	70, 699, 139, 294	58, 552, 223, 148	53, 544, 316, 908	51, 597, 100, 412	84, 176, 613, 110

### イ)活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位:円)

					(十四・11)
科目	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	33, 984, 620, 678	33, 053, 628, 766	32, 117, 593, 511	31, 839, 100, 319	30, 785, 944, 479
教育活動資金支出計	28, 576, 449, 394	29, 166, 708, 586	27, 005, 904, 150	25, 979, 884, 287	26, 336, 522, 496
差引	5, 408, 171, 284	3, 886, 920, 180	5, 111, 689, 361	5, 859, 216, 032	4, 449, 421, 983
調整勘定等	152, 911, 002	△230, 607, 121	232, 777, 081	△6, 424, 228	270, 667, 357
教育活動資金収支差額	5, 561, 082, 286	3, 656, 313, 059	5, 344, 466, 442	5, 852, 791, 804	4, 720, 089, 340
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	2, 131, 396, 997	4, 403, 584, 391	473, 962, 000	893, 449, 207	13, 361, 397, 911
施設整備等活動資金支出計	25, 393, 100, 447	13, 704, 527, 077	9, 486, 824, 441	6, 799, 057, 497	36, 239, 478, 103
差引	$\triangle$ 23, 261, 703, 450	△9, 300, 942, 686	△9, 012, 862, 441	△5, 905, 608, 290	△22, 878, 080, 192
調整勘定等	255, 569, 592	14, 913, 916	△81, 606, 165	288, 362, 741	328, 056, 504
施設整備等活動資金収支差額	△23, 006, 133, 858	△9, 286, 028, 770	△9, 094, 468, 606	$\triangle 5,617,245,549$	$\triangle 22, 550, 023, 688$
小計(教育活動資金収支差額+ 施設整備等活動資金収支差額)	$\triangle$ 17, 445, 051, 572	△5, 629, 715, 711	△3, 750, 002, 164	235, 546, 255	△17, 829, 934, 348
その他の活動による資金収支	•		•	•	
その他の活動資金収入計	19, 036, 778, 866	5, 528, 899, 638	2, 454, 641, 856	968, 784, 183	22, 323, 614, 691
その他の活動資金支出計	610, 359, 227	798, 331, 924	927, 996, 310	816, 152, 444	3, 727, 879, 498
差引	18, 426, 419, 639	4, 730, 567, 714	1, 526, 645, 546	152, 631, 739	18, 595, 735, 193
調整勘定等	0	0	1, 775, 564	△1, 775, 564	2, 878, 799
その他の活動資金収支差額	18, 426, 419, 639	4, 730, 567, 714	1, 528, 421, 110	150, 856, 175	18, 598, 613, 992
支払資金の増減額 (小計+その 他の活動資金収支差額)	981, 368, 067	△899, 147, 997	$\triangle 2, 221, 581, 054$	386, 402, 430	768, 679, 644
前年度繰越支払資金	15, 238, 743, 935	18, 359, 472, 986	17, 973, 070, 556	17, 204, 390, 912	15, 766, 400, 278
翌年度繰越支払資金	16, 220, 112, 002	17, 460, 324, 989	15, 751, 489, 502	17, 590, 793, 342	16, 535, 079, 922

### ウ)財務比率の経年比較

	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
教育活動資金収支差額比率	16. 4%	11.1%	16.6%	18.4%	15. 3%

### ※各比率の算出方法および評価について

	算出方法	評価
教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額/教育活動資金収入計	プラスであることが望ましい

	科 目	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度		
	事業活動収入の部	, , , ,	, , , ,		,	, , , ,		
	学生生徒等納付金	26, 350, 647, 036	25, 665, 430, 401	25, 051, 771, 100	24, 540, 817, 780	24, 247, 923, 220		
	手数料	1, 792, 794, 375	1, 688, 950, 140	1, 686, 406, 874	1, 536, 048, 447	1, 612, 970, 548		
	寄付金	320, 981, 008	365, 306, 756	452, 831, 081	472, 407, 788	551, 812, 126		
	経常費等補助金	4, 355, 199, 242	4, 212, 877, 506	3, 991, 756, 108	4, 147, 719, 615	3, 621, 289, 440		
教	付随事業収入	441, 185, 510	374, 544, 721	411, 516, 706	540, 229, 699	350, 359, 517		
育	雑収入	727, 719, 495	763, 037, 869	541, 805, 764	623, 037, 748	407, 926, 347		
活動	教育活動収入計	33, 988, 526, 666	33, 070, 147, 393	32, 136, 087, 633	31, 860, 261, 077	30, 792, 281, 198		
収	事業活動支出の部		,	•	'			
支	人件費	16, 533, 895, 589	16, 418, 796, 157	15, 786, 402, 449	15, 789, 319, 047	15, 427, 146, 090		
	教育研究経費	12, 862, 005, 858	13, 498, 193, 698	12, 427, 638, 732	11, 407, 690, 550	12, 241, 219, 842		
	管理経費	2, 233, 330, 752	2, 172, 290, 321	1, 855, 365, 831	1, 817, 005, 317	1, 768, 409, 309		
	徴収不能額等	2,636,710	1, 724, 000	2, 437, 000	0	128,000		
	教育活動支出計	31, 631, 868, 909	32, 091, 004, 176	30, 071, 844, 012	29, 014, 014, 914	29, 436, 903, 241		
	教育活動収支差額	2, 356, 657, 757	979, 143, 217	2, 064, 243, 621	2, 846, 246, 163	1, 355, 377, 957		
	事業活動収入の部							
	受取利息・配当金	1, 637, 257, 844	1, 140, 468, 923	689, 947, 973	745, 538, 844	507, 003, 254		
教	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0		
育	教育活動外収入計	1, 637, 257, 844	1, 140, 468, 923	689, 947, 973	745, 538, 844	507, 003, 254		
活動	事業活動支出の部							
収	借入金等利息	69, 781, 038	12, 649, 748	12, 014, 889	13, 087, 525	15, 983, 647		
支	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0		
	教育活動外支出計	69, 781, 038	12, 649, 748	12, 014, 889	13, 087, 525	15, 983, 647		
	教育活動外収支差額	1, 567, 476, 806	1, 127, 819, 175	677, 933, 084	732, 451, 319	491, 019, 607		
経常	以支差額	3, 924, 134, 563	2, 106, 962, 392	2, 742, 176, 705	3, 578, 697, 482	1, 846, 397, 564		
	事業活動収入の部							
	資産売却差額	164, 768, 177	0	0	0	511, 785		
	その他の特別収入	568, 303, 694	640, 621, 846	159, 609, 618	174, 278, 211	108, 896, 481		
特	特別収入計	733, 071, 871	640, 621, 846	159, 609, 618	174, 278, 211	109, 408, 266		
別収	事業活動支出の部							
支	資産処分差額	217, 775, 002	2, 120, 544, 277	593, 192, 834	161, 651, 005	475, 544, 011		
	その他の特別支出	0	0	0	0	74, 844, 237		
	特別支出計	217, 775, 002	2, 120, 544, 277	593, 192, 834	161, 651, 005	550, 388, 248		
	特別収支差額	515, 296, 869	$\triangle 1, 479, 922, 431$	$\triangle 433, 583, 216$	12, 627, 206	△440, 979, 982		
基本	<ul><li>金組入前当年度収支差額</li></ul>	4, 439, 431, 432	627, 039, 961	2, 308, 593, 489	3, 591, 324, 688	1, 405, 417, 582		
基本	<b>C</b> 金組入額合計	△4, 393, 893, 287	△3, 361, 936, 441	$\triangle$ 847, 729, 926	$\triangle 1, 465, 672, 651$	△734, 271, 018		
当年	E 度 収 支 差 額	45, 538, 145	△2, 734, 896, 480	1, 460, 863, 563	2, 125, 652, 037	671, 146, 564		
前年度繰越収支差額		△15, 026, 214, 954	$\triangle$ 12, 291, 318, 474	$\triangle$ 13, 752, 182, 037	$\triangle 15, 877, 834, 074$	$\triangle 16, 548, 980, 638$		
基本金取崩額		0	0	0	0	0		
翌年	E 度繰越収支差額	△14, 980, 676, 809	$\triangle 15,026,214,954$	$\triangle$ 12, 291, 318, 474	$\triangle$ 13, 752, 182, 037	△15, 877, 834, 074		
(参	3考)			<del>.</del>				
事業	<b>泛活動収入計</b>	36, 358, 856, 381	34, 851, 238, 162	32, 985, 645, 224	32, 780, 078, 132	31, 408, 692, 718		
事業	<b></b> (活動支出計	31, 919, 424, 949	34, 224, 198, 201	30, 677, 051, 735	29, 188, 753, 444	30, 003, 275, 136		

### イ)財務比率の経年比較

17/41/37611 12/12/12					
	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
人件費比率	46.4%	48.0%	48.1%	48.4%	49.3%
教育研究経費比率	36.1%	39. 5%	37. 9%	35.0%	39. 1%
管理経費比率	6.3%	6.3%	5. 7%	5. 6%	5. 6%
事業活動収支差額比率	12.2%	1.8%	7.0%	11.0%	4.5%
学生生徒等納付金比率	74.0%	75.0%	76. 3%	75. 3%	77. 5%
経常収支差額比率	11.0%	6. 2%	8.4%	11.0%	5.9%

#### ※各比率の算出方法および評価について

水 1 20 1 7 5 元 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							
	算出方法	評価					
人件費比率	人件費/経常収入	実態に適った水準を維持することが望ましい					
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	高いほど望ましい					
管理経費比率	管理経費/経常収入	低いほど望ましい					
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額/事業活動収入	プラス、かつ高いほど望ましい					
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金/経常収入	安定的に推移することが望ましい					
経常収支差額比率	経常収支差額/経常収入	高いほど望ましい					

# 7 財産目録

# 財産目録総括表 [2025(令和7)年3月31日現在]

	仂	Щ

年 度	2024(令和	c) 左座士	年 度	2024 (令和6) 年度末
科目	2024 (Triffi	6) 午及木	科 目	2024 (五和6) 午及木
一 基本財産		115, 222, 906, 375	二 運用財産	72, 990, 714, 466
1 土地 (団地別)			1 預貯金・現金	16, 220, 112, 002
(1)深草校地	90, 036. 26 m²	4, 773, 381, 759	2 特定資産	55, 015, 631, 192
(2)大宮校地	18, 378. 02 m²	1, 285, 394, 919	3 有価証券	19, 000, 000
(3)瀬田校地	199, 996. 00 m²	2, 059, 959, 000	4 未収入金	1, 003, 121, 575
(4)南大日校地	63, 803. 39 m²	1,601,362,088	5 前払金	30, 967, 186
(5)大津校地	549.51 m <sup>2</sup>	1, 025, 385	6 電話加入権	17, 043, 043
(6)深草(寄宿舎)校地	2, 686. 03 m <sup>2</sup>	621, 227, 335	7 ソフトウェア	2, 625, 700
(7)大津(寄宿舎)校地	1, 354. 14 m²	138, 500, 000	8 長期貸付金	394, 986, 368
(8)瀬田バス停敷地	708.67 m²	255, 000, 000	9 出資金	240, 000, 000
(9)瀬田運動場予定地	199, 853. 00 m²	4, 858, 824, 385	10 保証金	45, 647, 000
(10) 平安高等学校及び平安中学校	24, 795. 75 m²	858, 841, 024	11 短期貸付金	1, 580, 400
(11)花背学舎	446.13 m²	810,000	三 負債総額	36, 126, 137, 556
(12) 亀岡グラウンド	20, 998. 00 m <sup>2</sup>	63, 000, 801	1 固定負債	27, 140, 855, 127
(13)龍谷大平安ボールパーク	47, 223. 00 m <sup>2</sup>	499, 000, 000	(1)長期借入金	20, 482, 394, 000
# <del> </del>	670, 827. 90 m <sup>2</sup>	17, 016, 326, 696	(2)長期未払金	838, 111, 448
2 建物			(3)退職給与引当金	5, 820, 349, 679
(1)校舎(龍谷大学・龍谷大学短期大学部)	255, 624. 22 m <sup>2</sup>	51, 683, 017, 745	2 流動負債	8, 985, 282, 429
(2)図書館	18, 826. 85 m²	3, 047, 621, 547	(1)短期借入金	1, 571, 736, 000
(3)体育館	19, 489. 73 m²	3, 974, 727, 652	(2)未払金	379, 548, 070
(4)寄宿舎	6, 699. 20 m²	1, 191, 525, 325	(3)前受金	4, 594, 839, 871
( 5) R E C ホール	7, 869. 72 m <sup>2</sup>	1, 644, 117, 201	(4)預り金	2, 439, 158, 488
(6)校舎(平安高等学校・中学校)	22, 003. 43 m <sup>2</sup>	4, 195, 550, 276	四 基本財産+運用財産	188, 213, 620, 841
(7)守衛所	19.05 m²	542, 339	四 基本別 庄 丁 連 用 別 庄	100, 213, 020, 041
(8)変電室	16.50 m²	1		
(9)校外学舎(花背学舎)	88. 92 m²	3	五 純資産(四一三)	152, 087, 483, 285
(10)付属棟 (亀岡グラウンドクラブボックス)	631.26 m²	193, 988, 729		
(11)管理棟 (龍谷大平安ポールパーク)	289.18 m²	77, 787, 000		•
(12)その他	5, 069.31 m <sup>2</sup>	919, 736, 445		
計	336, 627. 37 m²	66, 928, 614, 263		
3 構築物	1,851 件	5, 495, 313, 015		
4 機器備品	141,940 点	6, 490, 726, 213		
5 図書	2, 406, 177 🖷	14, 062, 552, 926		
6 車両・船艇	20 台	69, 811, 693		
7 建設仮勘定	_	5, 159, 561, 569	1	

# 8 寄付金の状況

### 寄付金による収入

① 特別寄付金(使途を指定した寄付)	318,693,995 円
② 一般寄付金(使途を指定しない寄付)	1,353,000 円
③ 現物寄付	122,613,707 円

### 寄付金のうち、大口の寄付(一口10,000,000円以上の大口寄付者)

① 特別寄付金(使途を指定した寄付) 龍谷メルシー株式会社	105,000,000 円
② 一般寄付金(使途を指定しない寄付)	0 円
③ 現物寄付	71,000,000 円

# 9 補助金の状況

			うち大学	うち平安
国庫補助金収入	経常費補助金	2, 309, 421, 000 円	2,309,421,000 円	0 円
	修学支援制度補助金	1, 396, 578, 700 円	1, 396, 578, 700 円	0 円
	文科省防災機能等強化補助金	318, 121, 000 円	318, 121, 000 円	0 円
	文化庁国宝重要文化財等保存・活用補助金	32,641,000 円	32,641,000 円	0 円
	研究設備補助金	26, 216, 000 円	26, 216, 000 円	0 円
	大学連携型人材養成プログラム事業費補助金	16, 276, 898 円	16, 276, 898 円	0 円
	国交省共創・MaaS実証PJ補助金	15,717,420 円	15,717,420 円	0 円
	文科省・大学機能強化支援助成事業補助金	10,777,880 円	10,777,880 円	0 円
	高等学校DX加速推進事業補助金	9, 999, 000 円	0 円	9,999,000 円
	私立高校ICT教育設備整備推進事業補助金	7, 157, 000 円	0 円	7, 157, 000 円
	産業教育推進補助金	3,824,000円	0 円	3,824,000 円
	その他の国庫補助金	9, 868, 365 円	9, 868, 365 円	0 円
地方公共団体補助金収入	京都市脱炭素先行地域づくり事業補助金	49, 879, 000 円	49,879,000 円	0 円
	京都市地域連携等推進事業補助金(ふるさと納税)	3,620,000円	3,620,000円	0 円
	京都市健康診断補助金	1, 260, 614 円	1, 260, 614 円	0 円
	滋賀県健康診断補助金	583,000 円	583,000 円	0 円
	経常費(運営費)補助金	461, 450, 000 円	0 円	461, 450, 000 円
	授業料減免事業補助金	109, 621, 043 円	0 円	109, 621, 043 円
	特色教育推進補助金	15, 313, 000 円	0 円	15, 313, 000 円
	就学支援金事務手数料	422,000 円	0 円	422,000 円
	他府県奨学費補助金	154,000 円	0 円	154,000 円
	その他の地方公共団体補助金	2, 922, 322 円	2, 338, 880 円	583, 442 円
補助金収入合計		4,801,823,242 円	4, 193, 299, 757 円	608, 523, 485 円

### 10 借入金の状況

# 借入金明細表 < 2024 (令和6) 年4月1日 ~ 2025 (令和7) 年3月31日 >

										(単位:円)	
	借	入 :	先	期首残高	当期增加額	当期減少額	期末残高	利率	返済期限	摘要	
		日本私立 学校振興· 共済事業団	一般施設費	1, 583, 270, 000 0	2, 500, 000, 000	<ul><li>166, 660, 000</li><li>166, 760, 000</li></ul>	1, 416, 610, 000 2, 333, 240, 000	0. 50% 2. 00%	令和16年9月15日 令和21年9月15日	使途 和顔館建設 担保 土地,建物 (一部) 使途 深草キャンパス施設整備 担保 土地,建物 (一部)	
			*L	1, 583, 270, 000	2, 500, 000, 000		3, 749, 850, 000	0.23%		使途 深草キャンパス施設整備	
長		三菱UFJ銀行		3, 000, 000, 000	5, 000, 000, 000		7, 466, 684, 000	~0.70% 0.24%	令和22年3月30日	無担保 使途 深草キャンパス施設整備	
期借入	市中金融機関	みずほ銀行	一般施設費	0	7, 000, 000, 000 2, 500, 000, 000		6, 533, 332, 000 2, 333, 332, 000	~0.67% 0.25%	令和22年3月31日 令和22年3月31日	無担保 使途 深草キャンパス施設整備	
金	機関	京都銀行	京都銀行	一般施設費	470, 860, 000		× 71, 664, 000	399, 196, 000	~0.63% 0.30%	令和14年9月30日	無担保 使途 土地・建物等固定資産取得 担保 土地・建物 (一部)
		小	#H	3, 470, 860, 000	14, 500, 000, 000	* 1,238,316,000	16, 732, 544, 000			担体 工地・建物 (一部)	
	その他										
	小計		5, 054, 130, 000	17, 000, 000, 000	× 1,571,736,000	20, 482, 394, 000					
	公的金融 機関	機関 小計中金融		0		0					
短	市中金融機関			0	0	0	0				
期借入	その他	Ф	**	0	0	0	0				
金			238, 324, 000	※ 1,571,736,000	238, 324, 000	1, 571, 736, 000					
		計		238, 324, 000	※ 1,571,736,000	238, 324, 000	1, 571, 736, 000				
	슴計		5, 292, 454, 000	17, 000, 000, 000 * 1, 571, 736, 000	238, 324, 000 * 1, 571, 736, 000	22, 054, 130, 000					

※返済期限が1年以内の長期借入金につき短期借入金への振替金額である。

#### \_\_\_\_\_ <参考>学費等一覧

龍谷大学・龍谷大学短期大学部の学費等については、大学ホームページ上でご確認ください。

龍谷大学ホームページ>学生生活・就職支援>学費・奨学金>学費等一覧 <URL>https://www.ryukoku.ac.jp/campus\_career/expense/school.html

以上